京城日報
朝刊
本日朝夕刊八頁

社説　華府を目指せ

シンガポール占領の意義が重大なることは既述の如く、これによつて太平洋、印度洋、南洋の全域は完全に皇軍の制覇するところとなり、茲に絶對不敗の地位とともに、經濟的には如何なる長期戰にも十二分に堪へ得る厖大なる資源を確保した。このことは米英にとつては遂に東亞進攻の足場を完全に失墜し、同時に戰略乃至は保有資源の全面的喪失を意味する。同時にまた軍事的にも皇軍は濠洲、アメリカ、印度の如きはいふに及ばず欲すればスエズ、パナマにも作戰し得る地位を確保したのであつて、南洋生命線の制覇は大東亞戰爭の大勢を確定したといふも[illegible]然して[illegible]これを以て、彼等が[illegible]ことは[illegible]であり危險である。[illegible]なれば彼等は依然[illegible]を捨てず、物的[illegible]に依存して益々抵抗を強化するに過ぎないからである。

このことはシンガポール攻防の跡を見ても判る。皇軍にジョホール水道を突破され、島内に怒濤の如き進撃を受けながら、彼等は數日間、希望なき戰鬪を續けた。これは大にしては世界的局面における彼等の精神及作戰と見ていゝ。そして總督官邸をはじめ、ブキテマその他の最要點を占領され、一方海上においては數千隻の脱出船を撃沈され、しかも進路は全く絶たれるに及び、進退全く窮まつて、漸く降伏した。こゝに彼等の頑迷的な粘り強さ、執拗さを見出すのである。

シンガポール占領が全局面に亙つて我に有利であり、敵の死命を制したことはこゝに再び論ずる迄もない。然しながら彼等を眞に屈服させるためには更に一層奮起して、彼等の妄想の根源を叩きのめさなければならぬ。即ち世界におけるブキテマ、總督官邸を占領する必要が絶對なのだ。世界のブキテマとはハワイ、パナマ、ジブラルタル、スエズであり、世界の總督官邸とはロンドン及びワシントンである。これを我々が軍事的に制壓することにより、敵ははじめて抗戰を止めるであらう。隨つて我々國民はわが軍事力を持つて敵の首都を陥さしめる推進力たるの強大なる決心を持たねばならない。

シンガポール占領の意義極めて重大ではあるが、これは絶對勝敗の決は今後にある。即ち一億國民の益々重大なる決心を必要とする所以であり、我々は緒戰に勝つてす分と雖も心許すやうなことがあつてはならないのである。

英將無條件降伏・歷史的會見記

“なに！問題は今夜だ！”
大聲できめつく山下中將
敵將、顫へる手で降伏署名

山下中將

【シンガポール北郊十五日同盟】よくも勝つたものぞ、こゝアジヤの大陸の南端に高らかに揚げられた日の大御旗、感激の凱歌は大東亞圏に響きわたる、マレーを席卷、難攻不落の牙城を攻めた忠勇なる將兵の願ひは成つた、敵は降伏したのだ、記念すべき二月十五日午後七時、彼我の兩將は顫へる手で無條件降伏狀に署名したのだ、こゝはシンガポール市から西北十二キロ、激戰の地ブキテマ二百八高地、シンガポール街道の傍らちよつと小高い芝地にあるシャボテンに圍まれ白造りの彈痕も生々しい一室が敵降伏の場所であつた、この大東亞戰の一段階を刻んだ大きな幕切れの一場面を記者らは名狀し難い感動の中に見たのである

會見の室は窓硝子も扇風機もない金網張りで外から丸見えの一室である、午後六時四十分、一坪もあるユニオンジャックと白旗を先頭に杉田部隊長の先導でわが憲兵に護られた英軍々使が悄然とやつて來た、英マレー軍司令官A・パーシバル中將、參謀K・S・トランス代將、參謀C・H・K・A・ニユービッギン代將、D・ワイルド少佐の四名だ、いづれも鐵帽を被つてゐるが、腰に下げた拳銃は中味なしの空である、一行は會場の隣室で休憩する、通譯のワイルド少佐は大きな和英辭書を出して首をひねつてゐる、パーシバル總司令官は桃色の頬や咽喉をぴく〳〵動かしつつ白髭をひつぱり、赤い短靴の先で床を蹴り落着かぬ樣子だ、近くのわが砲兵陣地からどん〳〵と砲聲が轟く毎にちよつと首を縮めて目をぱち〳〵させてゐる、やがて玄關脇の廊下から一

わがマレー軍司令官山下奉文中將が幕僚を隨へて現れた、煙草を消したパーシバル中將以下が姿勢を改める四坪ほどの室に軍刀をわし掴みに起上つてパーシバル總司令官から順次に名乗りをあげて握手する、一同テーブルを圍んで着席すると山下軍司令官は落着いたペスで

山下中將　只今貴官から回答を頂いたが、日本軍は無條件降伏にのみ應じます

パーシバル　今は日本時間七時五分ですが、われ〳〵の回答は暗くなるまでに間に合はぬものと思ひます

山下中將　大體においてこの條件を容れるのであるか否かを回答されたい、このことは迅速に行かねば進捗せぬ、夕方になればわが方はまた攻撃しますぞ

と大聲できめつける

パーシバル　ちよつと待つて頂けませんでせうか

山下中將　それは不可能である、第一に全軍の武裝解除をして警察力として必要な部分のみを最大限度一千名だけ殘せばよい、第二には今日、これからの英軍側の攻撃は一切いけない

パーシバル　けふ手交された條件のうち重慶政權代表を日本軍に手渡されたいとあるがその氏名が判らない

山下中將　重慶政權派遣の○○を逮捕手交することを要求する、シンガポール港在留の日本人はどうなつてゐるか

パーシバル　全部印度へ運んでゐます、印度の何處かよく判りません、英軍は今夜日本時間の午後十一時半から攻撃を止めたいと思ひます

山下中將　それは遲い、もし十一時になれば日本軍の一部をシンガポールに入れる

パーシバル　しかし英軍の兵隊は多分その頃にならないと全面的攻撃中止命令が行き渡らぬと思ひます

山下中將　それだつたら十一時半でよろしい

パーシバル　明日まで日本軍がシンガポール市に入らないで下さい

山下中將　取敢ずシンガポールの中心に全軍の武裝を置いておかれたい、それを日本軍が確認に行く

パーシバル　それは明朝早くこゝへ私共が出て來めてはどうですか

山下中將　それはこちらから別に要求する

パーシバル　今晩十一時内おそらく全面的の攻撃中止は困難かと思ひます、今晩の現在位置で停止したらどうでせう

山下中將　それならば午後十一時半まで攻撃しますぞ、閣下は直ちに攻撃中止命令を出されよ

パーシバル　それでは私が歸り次第攻撃は止めさせます、十一時半までに全部の攻撃を止めさせます、西部市外附近のは直ちものに止めさせ、遠いものは十一時半に止めさせます

山下中將　これが保證として英軍の最高指揮官ならびに幕僚はわれ〳〵の本部において監視します

パーシバル　日本軍は現在の土地に留まることは出來ませんか、明朝七時からまた交渉したいと思ひます

山下中將　なに、問題は今夜だ、十時までに攻撃を中止するならばその保證として總督と最高指揮官は日本軍で監視する、第二にもし出來なければ十時までに總督と最高指揮官はわれ〳〵の本部に來ねばならぬ

パーシバル　それでは十時までに射ち方を止めませう、今晩私共の兵隊は現在の位置にそのまゝで留る方がいゝのですか

山下中將　大體、そのまゝ留つて今晩一定の指定區域へ武裝解除の上集合するのだ、今晩十時の停戰はよろしい、日本軍も承知した、十時に一切攻撃中止後は英軍は全軍に武裝解除し最少の警察力を保有するため一千名だけ許す、さて貴下の降伏の諸條件は承諾したがいまだ全面降伏に對する『イエス』か『ノー』かが判らぬ

パーシバル　イエス〳〵

山下中將　イエスならばもう一つ十時に停戰することゝ、第二に全員を武裝解除し一千名の武裝兵を殘し、シンガポール治安維持に當らせることゝ、もしこの條件に反し抵抗すれば直ちに攻撃を開始する

パーシバル　はい、承知しました、もう一度お願ひしますが、シンガポール市にゐる英人男女を日本軍で保護して下さい

山下中將　それは大丈夫だ、大丈夫だ、貴方においても約束にたがはない限り大丈夫だ、それではこの降伏狀に署名されたい

パーシバル　承知しました

かくて七時五十分歴史的調印を終つた、わが方より「英軍に對する要求狀」と題する細目を手交、その他は十六日朝九時半現任地に日本側から連絡者を出すこととし會見を終つた

チャンギ要塞爆破の刹那　手前の魚網の如く見えるのはジョホール水道を閉鎖する機雷原【現地陸軍航空部隊撮影・陸軍省檢閲濟】電送

港灣施設の接收完了

【シンガポール十六日秋山海軍報道班員同盟】シンガポール陥落にともなふ海軍側の軍事港灣施設接收は十六日午後零時半カニング要塞司令部の英軍降伏處理分科委員會で行はれ○○、○○の各參謀、○○中佐、英國側からロビンソン大佐出席、セレター軍港の全施設、ケッペキ港およびチャンギ要塞の一部接收を決しロビンソン大佐から施設の細部的説明を聽取、港灣に殘置せる艦艇の處理を取決めたる後同大佐の先導で各施設附近における地雷、機雷の敷設場所を明瞭にした、かくてシンガポール軍港は全面的に日本海軍の占領するところとなつた

【○○基地十六日芳月海軍報道班員同盟】陥落とともにわが海軍艦艇は直ちにシンガポール附近一帶の掃海を開始する一方上陸部隊はセレター軍港をはじめ飛行場島内外の要塞など軍事施設の調査接收を開始した

殘存英軍六萬

【シンガポール郊外十六日同盟】無條件降伏直後のシンガポール殘存英軍は野戰軍、要塞守備隊、義勇軍總數六萬中一萬五千は英本國兵、濠洲兵一萬二千、殘餘は印度兵にして東西兩要塞には一兵もなく市民はなほ百萬踏み止まつてをり、うち英婦人女子が百廿名殘留してゐる

帝國總領事館　破壞されず

【シンガポール市十六日同盟】十六日午前八時卅分陥落直後のシンガポールに一番乘りした記者は帝國總領事館の安否を確めたが同館は破壞された形跡なく各部屋に貼られた「立入禁止」の貼札もそのまゝひつそりしてゐる

盟邦諸國使臣　參謀總長訪問

【東京電話】シンガポール陥落に際して駐日盟邦諸國の使臣、全滿洲國、汪中華民國、オットドイツ、インデルリイタリー各大使始め盟邦國の大公使武官等は十六日午後相前後して杉山參謀總長を訪問祝賀の挨拶を述べた

市街接收方法協議

【シンガポール十六日同盟】○○少將以下わが方代表は十六日午前九時半ブキテマフォード會社事務室に英軍軍政部長ニユービッギン代將以下英側代表と會見、シンガポール市接收に關する方法につき協議、まづ双方よりそれ〴〵六人づつの接收委員を選定することに決定し午前十時十分一旦會見を打切り兩軍において委員選定ののち午後零時半カニング要塞において委員會を開き各委員出席してシンガポールにおける官邸および軍事公共施設、一般住民の諸權益などの接收ならびに管理の具體的方法について協議を遂げた

【シンガポール市十六日同盟】マレー英軍降伏の細目協定を行ふため日英兩國代表は十六日午前九時卅分より約一時間にわたりブキテマフォード會社事務室において會見、降伏せる英軍に對するわが方の當面の措置につき細目協定の取決めを行つた、なほ協定成立と同時に山下マレー軍最高指揮官は皇軍のシンガポール占領に關する聲明を發表した

首相、獨外相に返電

【東京電話】東條首相は去る十三日ドイツ外相よりシンガポール攻略の赫々たる戰果につき寄せられた祝電に對し十五日シンガポール陥落の當夜ドイツ外相あて謝意を表するとともに樞軸諸國はいよいよ緊密な提携のもとに共同の敵撃滅を期する左の如き返電を發した

帝國のシンガポール攻略に際し閣下の余に寄せられた祝辭に對し余はこゝに深甚なる謝意を表するとともに三國協定諸國がいよく提携を緊密にし今日までの赫々たる戰果をさらに擴充して共同の敵を徹底的に壓碎せんことを期するものである

汪主席首相に祝電

【南京十六日同盟】シンガポール陥落の報に接した汪主席は十六日東條首相に對し左の如き祝電を發した

シンガポールはすでに貴國陸軍により攻略せらるると聞き欣快に堪へず、これ東亞共榮圏確立上不滅の偉績なり、こゝに謹んで祝電を發するとともに深く敬意を表す

ピブン泰首相　山下中將に祝電

【バンコック十六日同盟】ピブン泰國首相はシンガポールイギリス軍降伏の報に十六日朝わがマレー軍最高指揮官山下中將宛、日本軍の輝かしき戰果に對し心からの祝電を發した、なほピブン首相は來る廿日シンガポール陥落を祝して日泰兩國官民を招き大祝賀會を催す豫定である

ジャバ沖の海戰で　ハート大將戰死か

ハート大將

【上海十六日同盟】米海軍省は西南太平洋聯合艦隊司令長官トーマス・ハート大將（前米アジヤ艦隊司令長官）は去る七日病氣のためその職を免ぜられ後任には蘭印海軍長官ヘルリッヒ中將が十一日新任したと發表したがスラバヤより當地に達した情報によればハート大將は去る四日のジャバ沖海戰に於て日本軍航空部隊の猛爆をうけて沈沒した旗艦ヒスーストンと運命を俱にしたといはれる

これ以上抵抗することの出來ない恐怖のどん底につき落されたのだ、日本軍の砲撃の恐ろしさは今思つても身の毛がよだつほどだ、街全體がこの三日間擢れづめに擢れつづけた、砲彈が絶え間なく降つて來た、高射砲を應ら射つても日本航空部隊は悠々と襲つて來た、この都會に生きる者すべての願ひは平和だつた、どの一兵も抗戰繼續を願ふ者はないと英兵たちは異口同音に語つてゐる、コンノートドライヴウエーの並木道近く悄然と線へて立つスタンフォード・ラッフルス卿の銅像が灣岸自動車の大群のなかに突つ白く砂塵を浴びて敗れた英兵を見守つてゐるのも憐れである

獅港陥落の意義
板垣朝鮮軍司令官放送

太平、印度兩洋に　威風堂々飛躍せん
米英、如何に藻搔けど大勢すでに決す

シンガポール陥落第二日目板垣朝鮮軍司令官は今次帝國陸海軍の旋した世界戰史に比類なき戰果と更に國民はこのシンガポール陥落の快捷に驕ることなく大東亞戰爭の第二、第三の段階を突破する覺悟と勇氣が必要であるとて十六日午後六時半から約廿分間JODKのマイクを通じ「シンガポール陥落の意義」と題し全鮮へ次の如き烈々たる放送を行つた

開戰劈頭馬來半島の一角に敵前上陸を敢行し、僅か五十五日にして半島全部を席卷したわが無敵陸軍の精鋭は息つく遑もなくシンガポール要塞の攻略に着手し十五日遂にその陥落を見るに至つたのであります、諸君待望の日が遂に來ました、愈よ大英帝國崩壊の運命は決定しこれからが眞に大東亞人の大東亞となるのであります、實に世紀の驚異一大壯觀と申さなければなりません、この聖代に生を享けこの一大壯觀を眼前に見るといふことは何たる幸でありませう、私は感極まり唯々御稜威の廣大無邊なるに感泣するのみであります

大風枯葉を巻く

顧みまするに我陸軍の精鋭は馬來半島に上陸以來炎熱と惡天候を冒し瘴癘と疫病を克服し、或はジャングルと沼澤を跋渉して敵の側背に迫り、或は舟艇機動により突如として敵の背後を衝き以て隨所に敵を捕捉殲滅し一千百キロの行程を一擧に突破して敵に息の餘裕を與へず直ちに要塞の背後に肉薄したのであります、かくの如きは戰史に類例を見ざる所であります、これ皇軍の向ふ所眞に大風の枯葉を巻くが如く、ジブラルタルと共に世界の二大要塞といはれたシンガポールの要塞が何等皇軍を阻止するに足らず僅か一週間にして陥落するに至りました

皇軍傳統の精神力

さきには香港要塞も亦一週間にして陥落したことは既に御承知の通りであります、このやうなことは果して如何なる原因によるものか、まづ彼我の兵力はどうでありませうか、我は常に劣勢を以て敵に當り二倍、三倍、時として十倍の敵をも撃破してをります、裝備はどうかといひますと彼の裝備は相當に機械化せられ我に優るとも決して劣つてをりません、飛行機を除いても彼のスピットファイヤー及びハリケンの如き極に優秀なる性能を持つてをります、かくの如く物的要素において優れる敵軍も撃破殲滅するに至りましたことは皇軍古來傳統の精神的要素に統帥の卓越訓練の優秀に歸しなければなりません

敵の豪語も空し

精強無比の皇軍として世界の耳目を聳動せしめつゝある所以も亦茲に存するのであります、私は前線の皇軍將兵に對し衷心より感謝の誠を捧げ、特に尊き犠牲者の英靈に對しては深く敬弔の意を表するものであります、さてシンガポールは英國が最近十數年間巨額の國帑を投じて最新式の防備を施した近代式大軍港を擁する大根據地であります、備付けた大砲の如きは口徑五十四サンチ、射程廿浬に及ぶ驚くべき巨砲であります、彼等が難攻不落を豪語したるも亦當然と申さねばなりません

獅港重要視の理由

彼等は何故にかくまでシンガポールを重要視したかと申しますと一度地圖を瞥見すれば明かなやうにシンガポールは太平洋と印度洋とを連絡し又印度と濠洲とを連絡するのみならず、スエズ、パナマと共に世界航路の要衝に當り戰略上極めて重要なる地點であります、經濟的にも[illegible]極めて重要であります、英國がさきに亞細亞艦隊の主力を失ひ今またシンガポールを失つたといふことは全く彼の東亞における死命を制するものでありまして、軍事上は固より政治、經濟上の損失又測り知るべからざるものがあります

その陥落は當然

元來海岸要塞は海上に雄飛する海軍と上空を確實に掩護し得べき空軍の健在と相俟つて初めて其威力を十二分に發揮し得るものであります、開戰以來の我陸海軍の雄飛により大東亞海の制海權は完全に我が手中に歸したる今日、シンガポールの陥落は當然の歸結であります

何故ならばシンガポールの陥落は直ちに印度洋を脅威するものでありまして、これによりビルマの攻略は著しく容易となりその完全占領は單に時間の問題に過ぎません、果して然らば印度は直ちに危殆に瀕すべく、ビルマルートは完全に封鎖せられ重慶軍の運命は最早決定的であります、また南方ジャバ、スマトラの如きは正に俎上の魚であり、孤立に陥りたる濠洲の運命も[illegible]、かくの如くして英帝國の土崩瓦解も遠い將來ではないと思はれます、英國のシンガポール買收以來茲に百二十三年、盛衰榮枯又無量の感なき能はずであります

大勢すでに決す

かく觀じ來ればシンガポールの陥落は確かに大東亞共榮圏の確立に第一段階を劃するものであります、第二、第三の段階は固より將來の問題でありますが、米、英如何に焦慮するとも大勢は既に決定し、最早挽回し難き頽勢にあると申しても敢て過言ではありません、開戰劈頭ハワイにおいて米國太平洋艦隊の主力を屠り、又最近馬來沖において英國東洋艦隊の主力を屠り、北方においても米國亞細亞艦隊の主力を撃滅して偉大なる戰果を收めた所の我が無敵海軍が今後太平洋、印度洋兩洋を壓し威風堂々思ふが儘に飛躍し得るかと思へば、自ら[illegible]

小成に安んずる勿れ

然し乍らシンガポールの陥落は第一の段階で、未だ序幕に過ぎません、大東亞戰爭は時間的にみても地域的にみても更に第二第三の段階があるのであります

太平洋の彼方は北は『アラスカ』より北米を經て南米に亘る西岸に伸びてをります、印度洋の彼方は西部亞細亞の南岸を經て亞弗利加の東岸に達してをります、獨伊の歐亞に於る戰況の發展と相俟ちて大東亞戰爭有終の美を全うし、光榮ある世界新秩序を建設せんが爲には今後益々多事なるべきは當然であり、又我々は斷じてこれを敢行しなければなりません

もしそれ大陸に於ける北方の形勢を仔細に觀察すれば一刻の偸安を許さゞるものがあります、われ〳〵はかりにも第一段階の小成に安んずる事なく、更に第二、第三の段階を突破して終極の目的を達すべく大いに努力しなければなりません、何は兎もあれ今や大東亞共榮圏の確立は理想の問題に非ずして現實の問題であります、嘗て私は滿洲事變に於て賦した事でありますが武力的成果とこれに伴ふ政治的效果は相比例するものであるといふことであります

一大團結を結成

滿洲事變は北滿洲を打つて一丸として滿洲問題を解決し、遂に滿洲國の成立を見るに至つたのは當時の日本の武力が北滿の隅々に至るまで及んだ結果であります

一昨年皇軍が佛印北部に進駐以來我が國は佛印、蘭印等に對し外交々渉を試みたのでありますが、皇軍の威力の及ばなかつた蘭印においては一旦成立した交渉も彼の謀略するところとなり遂に失敗に歸し大東亞共榮圏の確立の如きは當時においては一場の夢に過ぎなかつたのであります、然るに大東亞戰爭勃發以來皇軍の進駐により、大東亞共榮圏の要衝は相次いで我が武力下に歸定せられつゝあります、かくの如く武力により歸定を見るに至りました以上、最早東亞共榮圏今後の建設は何物にも掣肘せらるゝことなく日本の思ふ通りに指導することが出來るのであります、然してその大方針は既に今回の帝國議會において政府の聲明する所でありますが、共榮圏内の全地域に亘り各々其の所を得せしめ更に日本に依存する鞏固なる一大經濟を結成することを以て第一義とせなければなりません

擧げよ内鮮一體の實

然してこれが爲には其の中核たる日滿支三國の團結の一層鞏固なるべきは勿論特に朝鮮二千四百萬の同胞を含む一億皇國臣民は指導者たる矜持と責任觀念とを堅持し、鐵石の團結を以て眞に内鮮一體の實を擧ぐることを急務と致します、次に大東亞共榮圏の建設は一面戰爭、一面建設主義で行はなければなりません、これ恰も我國が支那事變中高度國防國家の建設のため總力を擧げて努力を傾注したる結果、今回の大戰爭の赫々たる戰果を基礎づけたと同樣、今後は更に之を擴充して大東亞共榮圏全體を對象とする高度國防國家體制を確立し以て今後の長期戰における米英兩國の抗戰企圖を挫折せしむることが必要であります、惟ふに我國における高度國防國家の建設は未だ決して完成せられてゐるとは申されないのであります、現に幾多の重要問題が殘されてゐるのでありまして

高度國防國家の完成

特に大東亞共榮圏の問題となりますと職局も廣く文字通り複雜であります、今後の施策に待つべきものが多いのであります、何れにしても將來國防上、經濟上帝國の自給を增大することが當然でありまして國力を飛躍的に增進せしめなければならないのであります、朝鮮においても勿論のことであります、而して豐富なる南方資源の利用の如き、今週に其實現を豫期し難き現況においては益々現下戰爭に必要なる重要工業品の增産を圖ると共に高度國防國家の完成を促進すること極めて肝要であります

もしこれに反し今にも物資豐富となり、統制は緩和せられ再び自由主義時代に還元するものと誤り、聊かにても國防國家の完成を忽にするが如きことあらんか、これ全く新時代に對する認識を缺き、國策を誤るものと申すべく、決して大東亞共榮圏の確立を期することは出來ないのであります

これを要するに一億國民は次に來るべき新時代を確實に把握し、益々士氣を昂揚して必勝の信念を堅め、不撓不屈、鐵石の團結を以て各々其本分を盡し飽まで戰ひ拔くことが皇國悠久の聖旨に副ひ奉る所以であり、是卽ち白頭山頂[illegible]の要諦であると確信する次第であります

“百萬の避難民”
陸續とシンガポールに歸還

【シンガポール市十六日同盟】兵隊と武器と恐怖の坩堝シンガポール市は十六日の皇軍入城によつて蘇らうとしてゐる、家財道具を背負ひわが家指して還る避難民の大群衆百萬が街に陸續と續きなかには子供たちを乘せて自家用車で還つて來る英人避難民も散見されるが、大多數は華僑である、戰ひ止んだ安堵に放心狀態だ、と

この感激で祝ひ拔け
あす戰捷第一次祝賀日

……城府三聯盟が主催し各聯盟旗……前に"戰捷奉告祭"に……學校五年生以上の兒童學生、……日の丸の旗に埋め盡す、午後……等軍關係者を招待し聯盟、愛……西工會議所各議員の外官民……すことになつたが……城からは花火を打揚げ街には……祭と終日祝賀色に塗れること

而して若し印度が依然として英米の甘言に迷ひ傀儡に墮すれば これは印度民族最後の機會を失はざるを得ないのであります

戰印、濠洲、蘭印、蘭へと偉大な言葉は東亞十億民衆の大東亞建設の黎明を告げる喇叭となつて響くのだ

鑿岩工養成所生募集

朝鮮總督府鑿岩工養成所生を次の如く募集する 募集人員五十名、養成期間四ケ月、十八歳より卅五歳まで、入所志望者は願書、履歴書、身體檢査書、修了後就職せんとする鑛山の推薦書同封三月十日迄に總督府鑿工養成所に申込む

祝ふ三日間
府民に贈る 本社の祭典

第一日（十七日）

イ、日本ニュース最新號 ロ、京日特作「獅子港陷落の意義」ハ、南方記録「カナカ族」ニ、理研特作「艦船勤務」

第二日（十八日）

▲挨拶 御手洗本社長▲講演 海軍武官府德田中佐▲奉祝演藝 本券番連中イ、帝國陸海軍勇獅子 ロ、海ゆかば ハ、銃後の乙女 ニ、海の進軍 ホ、愛國行進曲▲奉祝演舞 漢城券番連中▲映畫 イ、獅子港陷落の意義 ロ、日本ニュース最新號 ハ、關領印度（七卷）

第三日（十九日）

▲挨拶 矢野京城府尹▲講演 御手洗本社々長▲奉祝演舞、漢城券番、イ、祝シンガポール陷落舞 ロ、舞劍 ハ、長生寶宴之舞 ニ、劍舞▲映畫 イ、「獅子港陷落の意義」ロ、日本ニュース最新號 ハ、帝國軍歌集、ニ、「艦船勤務」

註……講演があるため小兒入場は禁じ、會場整理費として十錢申受けるが、入場者には洩れなく陷落記念封緘紙を呈上する

なほ十七日より三日間にわたる府民館本社主催祝賀會のため朝鮮軍事普及協會主催徵兵慶祝公演會の軍人遺家族招待及びマチネーは毎日午前十時から正午迄と變更になつた

强き體で名乘れ
體力檢査 臨戰報國團から檄

シンガポールは陷ちた、世紀の殲敵は半島の津々浦々を沸かしてゐる しかしこの戰聲、この感謝こそは同時に大東亞建設完成への聖き戰聲であらねばならない、半島のこの聖なる決意の前途には朝鮮青年が皇國臣民の光榮に映えて、いよく來る三月一日から實施の「體力檢査」が嚴として聳いてゐるのだ、世界の指導者たらんとする半島の若人が「强き體力」で前途を拓く遠い征戰に備へるのだ、半島の總動員である朝鮮臨戰報國團では半島の赤誠を總揮する機會こそそこのときだと戰捷に際しそとなく滿十八、十九歳の朝鮮青年は一人も洩れなくこの光榮の體力檢査に進んで應ずやう十六日次のやうな「父兄諸姉に青年に告ぐ」の檄をとばし、更に全鮮各支部に向け右の指令を發して隣れの協力運動を……

る座談會や講演會を開催して體力檢査の意義と目的を周知せしめるやう通牒を發した

今般施行せられる半島青年體力檢査は實に劃期的の措置であつてその目的とするところは半島における人的資源の大勢を的確に把握して或は國防に或は勞務にこの人的資源を最も有効適切に活用せんための計畫の資料を得るためである

今や内地人たる青壯年は其の殆ど全部が或は直接聖戰に或は産業勞務動員に挺身奉公しつゝある實情を見るとき朝鮮はその恩まれたる人的資源を以て或は志願兵制度の擴充に或は勞務の供出に聖戰參與の光榮に浴し依て以て大東亞共榮圈確立に寄與しなければならない、其の準備として行はれるのがこの半島青年體力檢査であり同時にこれは青年自身に取つては自分の國家奉公能力の如何を決定する基礎となるのである

今こそ半島人赤誠發揮の絶好の機會であるから青年自身が喜び勇んでこの檢査に應ずべきは論を俟たないが その父兄諸姉に一般民衆も擧つてこの未曾有の盛事に協力すべきである

"參加せよ共榮圈へ"
東條首相 世紀の獅子吼

【東京特電】シンガポール陷落の夜は明けた、十六日朝、陽光は白亞に輝く白堊の議事堂に流れ尖塔高く日章旗は朝風にはためくこの旗の下に今日東亞の指導者東條首相は午前十時五十分世紀の勝利を行つた、議場の瞬間を……

……議場の緊張の裡に、各國大使の顏にも、列席の大野政務總監の顏にも一瞬無上の感激が漲つた

畏くも宣戰の大詔渙發せられるや僅か二旬にしてマニラを、七旬を待たずにしてシンガポールを攻略しこゝに米英兩國の多年に亘る東亞侵略の三大據點は擧げて我占領するところとなつたのであります

ビルマ人のビルマ建設に對して帝國は欣然として積極的協力を與へる、今や印度も亦英米の搾取から脫して大東亞共榮圈に參加する千歳一遇の好機である、

感極まつて男泣き
"降伏獅港"に勇士ら萬感無量

【シンガポール郊外フエーベル山頂にて十五日同盟】英軍つひに白旗を揭げた、記者は連日熾烈なる敵砲火を浴びて決死の進擊をつゞける右翼〇〇部隊に從つて、いまシンガポールを眼下に望む同市西郊フエーベル山頂にある、十四日夕敵山麓に迫る、夜の更けるのを待つて

夜襲を決行

つひにこれを奪取したのである、山腹には敵の死體が累々として横はり壕間の氣金山に滿ち戰の跡が生々しく胸を打つ、夜が明けるに從ひシンガポールの街がはつきり浮んで來る、昨年十二月八日シンゴラに上陸以來七十日、わがマレー作戰軍はこのシンガポールをわが手中に收めるにあつたのだ、幾世紀かにわたつて東亞を搾取した英帝國の東亞における本據、皇軍を惱ましたシンガポールが今や

わが眼下に

みえる、今こそシンガポールはわが手中に歸したのだ、傍らにゐる勇士をみると眼に淚を一杯浮べてゐる、生死の中を幾度か彈雨の中を"これが最後か"と思ひつゝ戰つて來たのだ、眼の下にはまづ東洋一を誇つたエンパイヤドックが横はつてをり、市街の中央部にはシンガポール河が蜿流してゐる、その周圍にはわが砲擊によつて相當破壞された總督府などが望見される、それらの建物を燃ふやうに重油タンクの煙が未だ消えもせず燃えつゞけてゐる、ビクトリヤホテル、ユニオンビルなどの建物などが空に浮び上つてゐる

わが苦闘は遂に報いられたのだ、銃をもつ手を胸にしばし

感極まつて

いふ言葉もなく勇士たちは男泣きに泣いてゐる、擧げた命は惜くはなかつたが、いま陷落のシンガポールを見る感激は萬感無量なのだ、北の方にはつい先刻まで砲聲が聞えてゐたが、これも沈默してしまつた、こゝから眺められるシンガポールの市街は破壞の跡も大して目立たず美しい建物と道路が南海の太陽のもとに光つてゐる

西部方面は

どす黑い家屋が密集してゐるが、こゝは支那人街のはずだ、望遠鏡でのぞいても人影も見えず、港には船の影もない、街全體が靜まり返つてゐる、英國の支配してゐたシンガポールはすでに死の姿だ

道といふ道には敗殘の英兵
獅港、ペンの一番乘り

【シンガポール十六日同盟】十六日午前八時半戰火をさまつたシンガポール市に部隊の進駐に先立ち記者は一番乘りを行つた、街に足を踏み入れての第一印象は英軍の最前線はすでに全く市内に壓縮されて六萬の全英軍が蟻球と共に動く隙間もないほど追ひつめられてゐたことだ、道といふ道は英軍の疲れ切つた大縱列でうづまつてゐる、その誰もがハッとして記者の車に一齊に顏を上げて覗き込む、鋭いが、すでに敗者の疲れ切つた眼である、敵の影さへもみえない

アスファルトの道は總督官邸に續く小道だ、その附近にはシンガポール

華僑

の有力者の邸宅が就と豹の石像に守られながらガラ空きになつてゐた、總督官邸の門をくゞる、轟々と輝いた芝生に砲彈の跡が三つ口をあけてゐる、轟の蔭には英軍の電線がギッシリと詰つて衞兵がのびのびとそのかげで體を洗つてゐた

會も議事堂もすべてが赤十字のマークをさげて野戰病院と變つてゐるのだ、英軍の損害が如何に大きかつたかがわかる、市役所等は高級自動車の避難所である、シンガポール河を渡るごろから大通りも通れぬほど綠の軍用貨車とタンクと砲で埋つてゐる、商港機關車頭はわが砲擊で完全に破壞されてまだ黑煙を吹きあげてゐる、大通

シンガポール市街に入る、何たる大群集であらう、織るやうな高級車の動きオートバイの疾驅それらが一齊に記者の車に吸ひつけられたやうに止る、手を振る印度人、茫然としてゐる華僑の群、のび放題にのびたひげの英兵が交通整理に立つてくれた道路上にはカーチシネマの瀟洒なビルが見える、全部が兵站宿舍に變つてゐて窓から坊主頭の英兵、印度兵が顏を突き出してゐる、どの顏も戰止んだ安心でホッと氣拔けしてゐる

車輛

の整備員である、敵の海軍の市街前線は兵隊と……

の豪華な商店は見る影もない荒れ方で、豪奢な椅子、テーブルが引つくり返りどこの街角も硝碎の破片にくつかへされ焼けてゐないところはない、我軍の砲擊が如何に

凄絶

であつたかを偲ばせる、日本人商人の多いミッドロードに出る、懷しい日本語の看板は掛つてゐるが、その主人達は今どうしてゐるだらう、日本クラブにマレー人が二十人ばかり避難してゐる、記者を見るとわつと聲をあげて握手攻めだ

待つてゐました、必ず日本人がこの街に王者として入つて來ると信じてゐました、この地の日本の人達はみな十二月八日の午前二時に警察に拉致されて行きました

邦人達の苦悶が今こそ報いられたのだ、この古い街がなにか輝く貴重なもののやうに感ぜられる、そつと歩いて室外に出る、マレー人の留守番が一人淚を浮べ近寄つて來た、見ると默つて記者の從軍服の胸に薄紫色の花をさした

べそをかくチャーチル
五百貨店で飾窓漫畫展

シンガポールが陷落した翌朝京城府内五つの百貨店の大飾窓の中で、ルーズヴエルトがべそをかき、チャーチルが泣き、通る府民の眼をひいた、英國が其名譽をかけて、東亞搾取の根源として守り通さうとしたシンガポールが遂に陷落したのだからルーズヴエルトやチャーチルが泣くのはもつともなとだが之は京城百貨店組合が朝鮮漫畫人協會に依賴してこの日の爲に筆に撚をかけて作らせた『米英打倒』の漫畫でどつとあがつた銃後の歡聲に合はせ一齊に蓋をあけた『飾窓漫畫展』である【寫眞＝三越の飾窓の漫畫】

見よ皇軍の底力
◇板垣將軍マイクで獅子吼◇

"諸君待望の日が遂に來ましたいよく大英帝國崩壞の運命は決し、これからが眞に大東亞人の大東亞となるのであります"これは大東亞戰爭が始まつてからこの、シンガポール陷落の日まで沈默を守り續けてきた板垣朝鮮軍司令官の歡びの第一聲である、將軍は十六日夜官邸からＤＫのマイクを通してシンガポール陷落の歡喜に沸き返る銃後半島へ"陷落の意義"を明かにした、將軍はいふ

『物的要素に優れたる英軍が毎戰慘敗を喫するに至つた原因は……』と皇軍の底力を說る將軍の聲が寒夜に凛として朗々と流れ出る、淀みのない落ちついた口調で將軍は更にシンガポールの陷落は第一の段階で、序幕に過ぎない、第一の小成に安んぜず第二、第三の段階をも突破して行かなければならないと次に來るべき新時代への心構へを說いて約廿分間堂々たる所信を披瀝して記念すべき放送を終つた【寫眞＝放送する板垣將軍】

四氏錄音放送

シンガポール陷落の感激を乘せて勇壯な軍歌の吹奏がマイクから流れてゐる、十六日夜板垣朝鮮軍司令官の放送が終つて京城中央放送局がシンガポール陷落を記念して錄音した"シンガポール陷落後の世界情勢はどうなるか"その意義を歡喜に滿つる夜に贈つた…

續き聞れた早口のバスが流れ出た、先づ御手洗朝鮮總督府情報部長が大東亞戰爭下における半島の使命を取りも直さず日章旗のもとに皇國臣民となることだと叫び次いで鈴木城大教授が"シンガポール陷落の經濟的意義"と題し專門の南方經濟を提げて戰時經濟の强力化を喝破

續いて同七時半から高橋朝鮮軍參謀長は作戰の上から英國の崩壞に決定符をうつたシンガポールの陷落を端的に述べる、最後に久保田鴨綠江水電社長が產業人の立場から勝つて兜の緒を締めよ！と叫び四氏の錄音放送を終つた

織叺、百五十萬枚を陷落
京畿道 安城郡民の凱歌

待ちに待つたシンガポールの陷落だ、萬歲―叺を手に感激の萬歲を絕叫する四千郡民の喜び―これこそ京畿道安城郡民が一ケ年の歲月を要する百五十萬枚の叺をシ港陷落までと精進して見事なし遂げた銃後總力挺身の萬歲二重奏だ

昨年十一月京畿道から百五十萬枚の叺の生產を副業として割當られた郡民はこの叺こそお米や副食物を入れて『第一線に活躍する皇軍に送られるのだ』と叺を綴ぢる一針にも感謝の誠を籠め叺作りに精進したが大東亞戰爭勃發以來郡民は擧げて叺の增產に大童の作業を開始、皇軍の赫々たる戰果はやがて我々は一年でやるこの百五十萬枚の叺をシンガポール陷落までに仕遂げよう、皇軍の勞苦を思へば何でもない事だと米麥一俵、以來郡守を指揮官に晝夜を分たず老いも若きも郡民總力擧げて叺の增產に挺身し十五日見事百五十萬枚の叺を作り上げた時恰度陷落のニュースがラジオに傳はり感激の萬歲を叫んだもので十六日この喜びと感激を朝鮮興農會に左の如く打電して來た

皇軍の絕大なる戰果に感謝し感激極まりなきシ港陷落の日に於て軍民の總力發揮により本郡叺生產責任數量一五〇萬枚を突破したるにつき謹みて御輕をかね右報告す、京畿道安城郡守

獅子島陷落の意義
シンガポール占領記念映畫！
本社映畫部製作提供
京城・平壤・釜山・城津・全州・淸津・元山
各都市劇場本日より一齊封切

感激に飛ぶ債券
殖銀街頭へ

◇……大東亞新秩序の黎明は訪れ陷落の喜びは巷におほひ被り百萬府民を感激の坩堝に叩き込んだ

◇……國民歡喜の中に明けた十六日午後四時から六時まで京城殖產銀行では世紀の感激を債券に盛込んで行員百八十名を府内九個所に繰り出し記念債券の街頭賣出しをした

◇……人、人、人の波の本町入口ではセーラ服、國民服、市場歸りの購買人部隊の列がつゞき賣れる、賣れる、國民決意のもとに債券が賣れる

◇……記念債券は五圓と十圓の二種で總額二十萬圓か全鮮の殖產銀行から賣出され、京城では五萬圓が街頭に持ち出され賣殘された債券は二月十六日まで殖產銀行で賣られる【寫眞＝本町入口の殖銀債券部隊】

"新しき土"の戰士
土幕民ら北海道へ出發

既報＝興亞の產業戰士として海を北海道へ渡つて新しき土の開拓にその鍛へた勞働力を提供することとなつた京城々東署管内の土幕住民男子四十名は十四日午後十一時京城驛發で出發した

一行は北海道から迎へに來た北空知自動車會社取締役原田伊曾八氏に引率され十九日頃同地に到着直ちに三菱、三井、炭鑛組合經營の石炭揚げ作業に從事することとなつてゐる

原田氏は語る

『第一陣は取敢ず四十名を引率してゆきますが、續いて第二班も廿五日出發の豫定です、向うに行つて仕事に馴れたら妻子も呼び寄せてやりたいと思ひますが北海道にも先着の半島人勞働者が既に家庭を持つてゐる者もありますから、獨身者にはその土地で結婚もさせたいと考へてゐます』

群山號基金

【群山】續く"群山號"への基金七百六圓月明町聯盟▲五百圓永易信次▲五百圓三國商會文店▲百圓澤田ヨシ▲五十圓中尾進

獻金筒・記念切手等を發行

【東京電話】シンガポール陷落の記念として遞信省では獻金筒、記念郵便切手の發行、特殊日附印および記念スタンプの使用を行ふことになつた、この記念切手は特別のものを用ひず、現行の「乃木切手」と「東郷切手」の表面にそれぞれシンガポール陷落の文字と獻金額（プラス一、二錢切手、プラス二、四錢切手）とが加刷され、二錢切手は三錢、四錢切手は六錢で十六日から全國の郵便局、賣捌所で賣出され一錢または二錢は國民の愛國心の發露として國防獻金とすることとなつてゐる、記念日附印はシンガポールの地圖と飛行機に陸海軍の徽章を配し、十六日より廿一日まで使用、一方記念スタンプも各種の貯金帳や新規加入の定額貯金、簡易保險、郵便年金證書などに押捺され戰時貯蓄促進に一役買つて出ることになつた

鴨電から六萬圓獻金

赫々たる皇軍將兵の武勳を讃へると共にその勞苦に感謝の意を表さうとシンガポール陷落を記念し鮮滿鴨綠江水電會社では久保田社長以下關係八社の從業員一同が俸給の一部を割き陸、海軍に各三萬圓宛計六萬圓を獻金することゝなり十六日橋田常務は軍愛國部、海軍武官府を訪ひそれぞれ手續きをとつた、又朝鮮送電株式會社狹間三郎氏は會社を代表し軍愛國部に金一萬圓を獻金した

祝賀日は休校

【東京電話】シンガポール陷落の國民的歡喜を盛上げる祝賀行事は來る十八日を期して全國一齊に繰展げられるが、文部省では十六日特に祝賀當日は各學校とも授業を休み各種行事を擧行してこの世紀の感激を國民とともに頒つやうそれぞれ各直轄學校ならびに地方長官あて通牒を發した、祝賀行事神社參拜、戰歿戰士墓地清掃、慰問袋の發送、遺家族慰問、武道大會、體育大會、講演會、學藝會、映畫會、武裝行進、校旗行進、記念貯蓄の實行などの國策協力

社題特急

☆……これは素敵、なんと十六日一日で八萬枚のシ港陷落記念切手が賣盡された

正午光化門局、ついで午後二時中央郵便局の切手係嬢が目の廻る忙しさに悲鳴をあげながらゴールイン―

☆……遞信局が全鮮における寄附金附記念切手は四錢は六錢に二錢は三錢として全鮮で四十萬枚が賣捌かれたのだ

☆……この日午前九時津浪の如く押寄せた窓口には國民服やパーマネントに交つてほろくの着物を着た子供が固く握りしめたアルミ貨六枚を窓口に差出し二圓の獻金に感激して立去つてゆく姿もあつた、この小さな眞心が集り集なつて京城だけでもざつと千二百圓の國防獻金ができたのだ

京城版

十萬人の旗行列
あす京城府の『祝賀行事』

歡喜に沸き立つシンガポール陷落の祝賀日十八日に大京城の街を埋め盡す旗行列は初等學校男女五年生以上、中等學校男女生徒、專門學校以上の男子學生、町總代、各種團體、各職域が參加、十萬人を突破する人の波が怒濤の如く街に押し出すことになつてゐるが參加者は午後一時を期し總督府構內、日出國民校、京城運動場、京中、龍山驛廣場、南京城驛前漢江神社前の七ケ所に集合各自に『日の丸の小旗』を持參、各職域は『祝シンガポール陷落』『祝皇軍大捷』『皇軍萬歲』『皇國海軍萬歲』『必勝不敗』など大書した長旗の職旗を先頭に『勝つたぞ、日本、米英擊滅』の歌を合唱し氣勢を揚げることになつてゐる

獅子島陷落の奉告參拜　竹添國民學校ではシンガポールを陷落させた皇軍將兵の大戰果に感激、職員兒童一同は十六日朝早く朝鮮神宮に參拜したなほ慰問文や慰問袋百餘個を作り近く第一線に送ることとなつた

沸立つ歡喜
鍾路街の〝皇民行進曲〟

世紀の感激と歡喜に沸き立つシンガポール陷落世紀の歡潮と感激は京城鍾路街にも沸立つてその第一夜は明けた、シンガポール陷落し、東亞の血と膏をしぼりにしぼつて驕り猛つた老獪英が新しい東亞から追放されたのだ、かつて半島もその英國一流のデマに惑はされたことがなかつたか――今こそ東亞の現實が燦として輝いたのだ、歡喜は一ぺんに爆發した、皇國臣民の誇りに映えて光榮と感謝は街から街へと溢れ出して、輝かしい夜明け と ゝもに赤い幟幕は街一ぱいに張りめぐらされた

軒ごとに日の丸はひるがへる、街行く人々の顏は明るく足どりも輕い、それは世界の指導者たらんとする皇民行進曲なのだ

鍾路の四ッ角に突立つ和信は歡びの〝祝ヘシンガポール陷落〟の電光文字が夜空にくつきりと浮び出され、十六日の宵からは五色燦爛たる電飾が建物の表にゆらめき、世紀の歡びは鍾路の街を塗りつぶした

童心に溢れる感激
本社へ獻金寄託

〝おぢちやん、日本の兵隊さん凄いネ、之兵隊さんに上げて頂戴〟ランドセルを背につけて十六日本社に飛込んだ元氣な姉弟―府內西四軒町一七四櫻井國民學校三年住吉スミ子ちやん、一年生千榮春雄君の二人は平素貯めた十錢白銅ばかり廿六圓八十錢を國防獻金にと本社へ寄託した【寫眞＝獻金姉弟】

臨員傳部長の講演と漢城券番島妓生の手踊、ニュース映畫等があり決意を新たにすることになつた

シンガポール占領府民祝賀會

時……二月十七日より三日間　每日午後一時より
所……京城府民館大講堂（入場無料但し場內整理のため金十錢申受く、小兒御斷り）

――第一日目番組――

一、挨拶……………矢野京城府尹
一、講演……………京城師團報道部大久保中佐
一、奉祝演藝………東券番連中
　イ、長唄『五條橋』　ロ、長唄四季之詠　ハ、シンガポール陷落奉祝踊り
一、奉祝演舞………漢城券番連中
一、映畫……イ、日本ニュース　ロ、シンガポール陷落の意義　ハ、カナカ族　ニ、勤〔…〕

主催　京城日報社　京城府

獅子島陷落に感激の獻金部隊

本町署へ　〝世紀の感激〟に浸る國民的興奮は國防獻金への獻金の山となつて十六日本町署の窓口へ殺到した
▲五千圓本券番組合（代表大宮貞次郎）▲千圓南大門一九九萬総ミシン松山昌萬▲千圓南大門三丁目西松喜次▲二百圓新町一七上原ノブヨ
▲二百圓本町二ノ二中華亭店主及店員一同▲五百圓明治町二ノ二五京城用達業京城本町組合藤田海市、丹羽龍助、山木宗正▲百五十圓櫻井町一ノ一三森永源源八▲百圓若草町八七ノ二粟野正次郎、武橋町四若原政男▲五十圓南大門市場金村剛政▲八圓六十錢黃金町三ノ三四二蓮玉本店員一同▲二圓二十錢新堂町三三二ノ九金川義男

鍾路署へ　我が無敵皇軍の歷史的大戰果、獅子島陷落に感激して十六日鍾路署を訪れた獻金部隊は
▲鍾路一丁目九朋商會（金本淳興）▲鍾路二丁目二七隣本商店主植上吉子圓、同店員一同二百圓▲鍾路三丁目四五李鍾夏、千圓▲臥龍町一三九東仁中學院一同、五十圓▲堅志町二七ノ卅松本錫雄、五十圓

龍山署へ　陷ちたぞ、陷ちたぞ、シンガポールが陷ちたぞ、この世紀の感激の日、シンガポール陷落に百萬府民の赤誠は獻金となつて各署窓口に殺到、係官の眼頭を熱くさせてゐるが陷落の翌十六日龍山署を訪れこの日の國民的歡喜と感激をブチまけた人達は早朝來後を斷たないが同署保安係で受付けた獻金者は次の通り
▲金四十四圓六十五錢府內大島町第一區第一、第二、第三愛國班員一同代表者吉岡登志惠さん――これは大東亞戰勃發以來郵便局で扱つてゐた簡易保險の集金を班員各自が行つて得た手數料がこの程郵便局から下附されたので、そのまゝ衆議により獻金を申合せたもの…▲金百圓府內西大門町一ノ五一九力武竹さん、陸海軍へ五十圓づつ▲金三圓八十錢府內新孔德町一二九明星學院二年生白八正八君(一〇)、これは日頃のお小遣ひ錢を…▲金六圓九十錢府內錦町鐵道官舍四七ノ二西大門國民學校一年生佐藤泰彦ちやん及び四年生の久美子さんの二人姉弟が兩親に戴いたお小遣ひを…▲金八圓八十五錢府內漢江通一二ノ二二五五山田洋服店徒弟岩山在一君(一七)…これは二年前から五錢、十錢の白銅貨を貯めてゐたものがこの日の感激に蓋を開けたもの

城東署へ　十五日、輝かしいシンガポール陷落の戰果に感激して翌十六日城東署へは松山義盛氏の三千八百圓を筆頭に續々と獻金部隊が押かけて係官を喜ばせた
杏堂町二六六良山長助氏五十圓▲上往十里町七四一大原一松氏三圓五十錢▲上往十里町七四一第三區愛國班一同（代表安東太三氏）眞鍮食具數百點▲新堂町二五一松山義盛氏陸海軍へ千五圓宛三千圓外に防空監視隊慰問金として三百圓▲新堂町一〇七梁川弘吉氏廿三圓七十五錢▲馬場町七五九田代守少年兄弟五圓八十五錢▲上往十里町梁川香一氏廿圓▲杏堂町三三二四田虎吉氏八型蓄音機時計側一個▲下往十里町七六二第一區六班雀龍成氏ほか廿二名が眞鍮器具卅一點▲下往十町町八四五松川昌文氏十圓▲上往十里町七九明新學院先生兒童一同より卅一圓卅一錢

東大門署へ　獅港陷落と共に十六日東大門署へ喜びの食器獻納があつた
明倫町二第二區第一班元容喜氏は眞鍮食器具六十一點▲惠化町第一區第二班李順尹氏同じく食器類廿一點▲明倫町三森山忠秀氏同じく十點

永登浦署へ　待ちに待つた獅港陷落の快報傳はるや國民的感激は隨所に橫溢してゐるが、この世紀の感激を獻金に乘せて永登浦署に殺到した獻金風景を拾つて見れば
永登浦土建協會では高〔…〕氏が代表し金五百圓を將兵慰問へ二百五十圓宛獻金を寄託▲永登浦町二六五反物商松岡將夫氏夫人明子さん(二〇)は昨年三月十二日結婚したがこの時の結婚を記念し每日廿錢宛夫君から貰つて貯金箱に蓄へてゐたが十五日の晩臨時ニュースでシンガポール陷落のラジオ放送を聞いて感激と興奮のなかにその夜を明かしこの記念貯金を使ふのはこの時とばかりと思ひ込んで十六日早朝永登浦署にその貯金箱を持參し壞して在中金六十七圓八十錢を陸軍へ獻金▲三立製菓京城工場では男女八十名が十六日出勤するや我が皇軍の不滅の大戰果に感激して獻金を申合せ卽座に最高二圓から十錢までの獻金を取纏めた金五十一圓六十錢を陸軍へ獻金▲東和工業職工十五名は皆勞精神の昂揚を圖るべく十五日の第三日曜公休日を休まず操業したがその所得金三百三圓八十六錢をシンガポール陷落に感激し海軍へ獻金▲永登浦北部町會時設局長梶山キミさんは紀元の佳節に國民總力運動功勞者として表彰されたがその副賞として金一封を授與されたのをそのまゝ陸軍へ獻金▲東紡京城工場では豫ねて千四百名の女工が一億國民の感銘すべきシンガポール陷落を期して獻納すべく眞心こもる慰問袋五十個を揃へて待構へてゐたがいよいよ陷落の快報が發表されるや倉屋して永登浦署へ持ち込み獻納の手續をとつた

〝日本軍の強さは正に世界一〟
獨逸人宣教師　東大門署へ祝辭

シンガポール陷落のニュース寫眞も新しい十六日午前、東大門署青澤外事主任を訪れてしきりに祝辭を述べてゐる立派な外國人があつた、さつそく聞いてみると蓮池町一に住むドイツ人宣教師W・J・プデウエル氏(五〇)で輝かしい樞軸國日本の獅港陷落大戰果に敬服し昨夜はまんじりともせず明けるのを待つて豫てから知り合ひの同主任を訪れてお祝ひを述べたのであつたプ宣教師は語る

『日本は偉大ですね、獨逸のダンケルク戰以上ですよ、私は十八年前朝鮮に來ましたがこの日本の發展振りはどうです、私もまた故郷の獨逸人達も皆日本が好きです、日本も同じやうに獨逸が好きでせう、今度陷落したシンガポールには二回ほど遊びに行つたことがありますが、あの豪壯な要塞を僅かな日で攻略したのですから日本軍の強さは將に世界一です、わが獨逸もこれに負けないやうに今にきつと大戰果を納めるでせう』

プ氏の家庭は唯一人で夫人、令嬢は目下ドイツに殘つてゐる【寫眞＝プデウエル氏】

街の慰問袋
その夜の感激

『アーさん、久しぶ……みるとアーさんは一人しくしくと泣いてゐる、全くの手放しでこどものやうに泣いてゐる

『ばかねエ……』

起ちの感激……』とねえさん藝妓がお銚子の尻に軽くをあてたとたん帳場のラジオが『しばらくして軍大發表があるかも知れません……』とおごそかに告げました、それからの座敷は急に白々しいまでに眞劍なものとなつて差しつさゝれつの酒合戰も酣のころ『シンガポール島要塞の敵軍をして無條件降伏せしめたり』の勇壯なラジオ放送が痛いまでに耳をうつた、お座敷はもちろん帳場も板前も總と深い溜息と共に見守つてゐたねえさんもいつかハンケチを顏に押し當てゝゐました、旭町の高台の夜氣が身に沁んで突然アーさんは

『歸らう、オイみんな歸るよ……』

と笑ひ出した、狂氣染みた態度に呆ッ氣にとられてゐるねえさん達も

『そのキモチ判るわ……』

としみじみ眩きました

床し〝祝入營〟の千人針
龍谷高女生の美擧

恩師の弟がこの度〇〇へ入營することゝなつてそれを傳へ聞いた教へ子達から眞心こめた千人針を贈つた麗しい話―

新堂町龍谷高女の先生鈴木トミさんの弟國義氏が今回召されて近く〇〇へ行くこととなつたので、同校女學生八百名は鈴木先生を御慰めすることゝ又一つには晴れの御召しを心から祝ふために、勝籠へ生徒一人々々が一本宛の針を持つて立派に虎を描いて十四日贈つた唯一人の弟を國家に捧げた鈴木さんはさすがに感激して日頃の氣丈さを捨てこの可愛い女學生達を抱いて泣きくづれた

貯溜金をそつくり獻金

京城北阿峴町二一八雜貨商松本承一さん(三〇)は十五日夜十一時ごろ獅港陷落のラジオを聞いて感激の餘りぢつとしてゐられず貯溜金十四圓五十錢を鷲摑みにして西大門署へ駈けつけ『僅かですが、どうか無敵皇軍へ獻金させて下さい』と寄託、係官を感激させた

本社祝賀花火打揚げ

十七、十八日二日間（午前十時より一時間、正午より一時間）打揚げ花火より出てくる旗付き落下傘及び『祝シンガポール占領』の旗を本社に御持參の方には現品と引換に粗品を呈上します
本社販賣監理所の祝賀行進は十八日正午本社前を振出し市內行進を行ふ

朝鮮研武館の昇段、進級者

朝鮮研武館では銃後半島青年の心身鍛錬に去る一月廿五日から十日間毎朝五時から一時間半に亘つて柔道寒稽古を擧行したが參加者二百九名、皆勤者百名の多數に達し稽古納會試合を行つた結果特に優秀昇段進級者は次の通り
二段　金教水▲初段　千原　應烈、張本常雄▲一級　尹弘植、李洪泰、兵山光雄、蔡饗熙、安川炳洙、楊原孝鎬、高島家蔵▲二級　金禹信、金繼洙、金鳳鎭、金城榮次、兪元濬、吉永忠正▲三級　崔德山▲四級四名▲五級四名▲六級八名

ラジオ　十七日（火）

朝　▲六・〇〇ニュース▲六・三〇南方國文化史講話（五）板澤武雄▲七・〇〇時報・ニュース・體操▲七・三〇國民の誓詞・經濟市況・觀艦沿一省▲八・〇〇（城）宮城遙拜、ニュース▲八・三〇（城二）ニュース（朝鮮語）釜山・清津・裡里中繼▲一〇・〇〇ニュース、幼兒の時間ナカヨクアソビマセウ　小林つや江外▲一〇・三〇（城）戰時家庭の時間忍ぶ心の樂しさ　大浦賢道▲一〇・三〇（城二）ニュース（朝鮮語）清津・裡里中繼▲一一・〇〇國民學校放送『二年生の時間』お話と音樂『國引き』お話三堀一延、唱歌東京市中目黑國民學校兒童伴奏庄司武夫▲一一・三〇經濟通信

晝　正午時報（城）獸醫ニュース、管絃樂　東京放送管絃樂團▲〇・三〇（城二）ニュース（朝鮮語）―釜山、清津・裡里中繼―▲一・〇〇朗讀『マレー上陸よりシンガポール陷落まで』（二）海野アナウンサー▲一・三〇（大）新しい生活の建設『戰時下の國民生活』（二）桐淵とよ▲二・〇〇國民學校放送『六年生の時間』劇『東郷元帥』中村仁外▲二・三〇職場向音樂體操▲三・〇〇ニュース▲三・三〇（城二）戰時主婦の手帖（朝鮮語）―釜山・清津・裡里中繼―▲三・五〇（城二）ニュース（朝鮮語）―釜山・清津・裡里中繼―▲四・〇〇戰時國民教育講座『我等を繞る世界の動き』情報局第二部第一課長士尾平▲四・三〇經濟通信▲五・〇〇ニュース五・二〇（城二）ニュース（朝鮮語）―釜山・清津・裡里中繼▲五・五五（城）番組豫告

夜　六・〇〇少國民の時間シンブン早苗會兒童▲六・三〇永井柳太郎▲六・五〇（城二）ニュース（朝鮮語）―清津・裡里中繼―▲七・〇〇時報・ニュース▲七・三〇皇軍に感謝して國民に愬ふ（滿洲國を除く）農林大臣・拓務大臣井野碩哉、國民合唱指導西田榮一、合唱日本放送合唱團、ピアノ伴奏萬澤恒▲七・三〇シンガポール陷落に際して（滿・華）（感興入中）編南　師團長陸軍中將　尾崎義春▲八・〇〇軍事發表新嘉坡陷落―木村毅・作―解說德川夢聲、朗讀汐見洋、歌手藤山一郎、浪花節東武藏、詩吟櫻合　耕象、合唱日本放送合唱團、伴奏東京放送管絃樂團、伴奏指揮久岡幸一郎▲九・〇〇ニュース朗讀（アナウンサー）シンガポール陷落―志賀直哉・作―陷落のシンガポール飯塚改、管絃樂東京放送管絃樂團▲一〇・〇〇時報・今日の戰況とニュース感激の録音集▲一〇・三〇（城二）今日の戰況とニュース（朝鮮語）―清津・裡里中繼―▲一一・〇〇ニュース（城）番組豫告

愛の赤道【7】
竹田敏彦（作）　都竹伸一（繪）

家鄕の謎（七）

『それぢや、出歩くどころの騒ぎぢやないね』

二郎は、萬事に嬉しい、母の生活などを思ひ合せて、千鶴子の苦勞を劬るやうに繰返した。

『でも、もう暫くのことですわ』

千鶴子の聲は、低くかすれた。

二郎も怪訝に、

『暫くつて？』

『お兄さんに、お嫁さんがいらつしやれば、小母さんも、お手がすきます』

『それやさうだが、しかし、兄貴お嫁は、一體何處から來るんだね』

『あら、ほんとに御存知ありませんの』

千鶴子は、何か意味を含めた微笑の眼で二郎を見た。

『さつきも言つた通り、結婚の話さへ、半信半疑で歸つた譯で、チチヤマイオモシ、アニコンレイなんて電報だけなんだからね、寢耳に水だよ、一體何處のお孃さんだね』

『お兄さんも、よく御存知の方よ』

『へえ、誰だね……』

千鶴子は、そこでもすぐには答へないで、にっこり二郎の顏を見た。

『櫟村の晃子さんですわ』

『ほんとかい』

二郎は、びつくりしたやうにいつたが、

『嘘なんかいひませんわ、……何うしてそんなこと仰有るの？』

千鶴子は、何かを訴へるやうな顏で、相手の批判を探るやうに訊ねた。

しかし、二郎は、

『さうか……』

と、一言簡單に頷いたきりだつた。千鶴子も晃子も同じ年齡で、共に二郎等兄弟にとつては、從兄妹同志の間柄だつた。たゞ千鶴子が、父の姪であるに對して、晃子は母お繼の姪だつた。二郎の出發當時は、やはり千鶴子と同樣にまだ十五六の小娘だつたが、おきやんで、利かん氣な晃子の印象と、すぐ傍に並んで歩く千鶴子とを二郎は、心に較べてゐた。

高等學校の屈路ひに左へ曲ると、間もなく住宅の家並も盡きて、昔ながらの暗い坂道を上りきつて、

道は、緩やかな下り坂になり、のびのびとした田園風景が眼前に展けた。

そこからは松林や雜木林の間を縫つて、秩父や丹澤の山塊や、今朝見た富士も小さく望まれ、秋の陽に光る田畑を縫つて、白い帶のやうに續く道が、小川の石橋に繫がれるあたりに土藏の白壁を圍つてこんもり茂る欅の數株が、二郎の家の目標だつた。

しかし、二郎は家に着くまで、それ以上、家のことについては、千鶴子に質問することを避けた。

『櫟村の晃子を貰ふぐらゐなら、何故この千鶴子を貰つてやらなかつたか』

二郎の氣持がそこにあつたと同時に、千鶴子の思ひもそこにあるのではないかと、彼は推察したからだつた。

間もなく、二人は家に着いた。見上げるやうな屋根付きの大門をくゞつて、掃き清められたやうな廣い前庭を突き切ると、手入れを盡して保存した豪華なばかりの見事な藁葺屋根に、二百何年の年代を語る大槻家の邸宅が古風な威嚴をたたへて黑々と聳いてゐた。

『只今』

二郎が玄關に荷物をおくと、襖の向うに足音が入り亂れて、

『おや……お歸り』

にっこり迎へた母親のお繼の後から、

『あら、お兄さん……』

今風にパーマネントをした若い娘の顏が覗いた。

商業及法人登記公告

[illegible]

第七回決算報告

[illegible]

第貳拾貳期決算公告

[illegible]

夕刊
京城日報
夕刊一部　定價金○錢
京城府太平通一丁目三十一番地
京城日報社

皇軍堂々・獅子港市内に進駐

蘭印、消滅せん
米記者、ジャバ防衛を力說

【リスボン十五日同盟】ニューヨーク來電によれば目下シドニーにあるアメリカアイ・エヌ・エス通信特派員ニッカー・ボッカーは

シンガポール陷落が反樞軸聯合軍に與へる影響は極めて重大なるを說き、じアメリカ兵力をジャバ防衛に急派することによつてのみアメリカの蒙る損害を防止することが可能であると左の如く述べてゐる
シンガポールの陷落はジャバ失陷の危險を意味しジャバの失陷は豪洲の喪失を意味しさらに濠洲の喪失はアメリカ本土攻撃を意味する、從つてジャバの防衛はアメリカにとりアメリカ本土自身の防衛と同程度に重要性を有する、さらにアメリカは即刻有効なる多數の增援軍をジャバに派遣しないならば蘭印はシンガポール同樣脆くも潰え去るであらう

各重要建物の屋上高く
大日章旗を掲揚
戰車部隊先頭に精銳陸續

【シンガポール十六日同盟至急報】イギリス軍降伏に感激の一夜を夜露に濡れて野營の夢を結んだ皇軍はその一部をもつて十六日午前八時より北山戰車隊を先頭に隊伍堂々とシンガポール市内に進駐を行ひ、政廳をはじめ各重要建築物に對し大日章旗を掲揚した

彼我兩將軍の歷史的會見
敵將白旗掲げて來る
降伏條件十二條、無條件署名

シンガポール特電【十五日發】シンガポール要塞に立籠つたイギリス軍は我軍の猛攻に堪へず遂に降伏を決意し、十五日午後二時卅分C・M・Tワイルド少佐外三名の軍使が白旗を掲げシンガポール市西北方のブキテマロードスポーツ倶樂部附近の我軍最前線に現れ即時停戰を申出た、よつて我軍は杉田參謀が會見しイギリス軍最高指揮官が出頭し、降伏を申出よと重ねて勸告、與軍最高指揮官が會見することになり、會見場所はシンガポール市西北方三叉路北方二キロ、バトリユツク三四八高地中腹フオード自動車工場事務所と定められた、豫定通り午後六時四十分イギリス側東亞軍總司令官A・E・パーシバル中將、參謀K・Sトランス代將、軍政部長Aユーゼン代將、參謀H・Tワイルド少佐の四名がイギリス國旗と白旗を掲げてわが杉田參謀大石憲兵中佐の案内で會見場所に到着、午後六時五十五分我軍からはマレー方面軍最高指揮官山下奉文中將が幕僚を從へ到着し、直ちに十二ケ條の降伏條件を列記せる降伏要求書を提示し、パーシバル中將はこれに對し七時五十分これに署名をなし會見五十分にしてこゝにイギリス軍は無條件降伏するに至つた、なほ同會見において附屬條件として
一、イギリス軍はパーシバル總司令官がシンガポール市に歸還すると同時に停戰を開始し、十五日（日本時間）午後十時までに全線の戰鬪停止を訓令する
二、右條件に反したる場合は直ちに日本軍は攻撃を開始してシンガポール市を占領する
三、イギリス軍は一定の場所を定めて武器を棄て武裝を解除する、但し日本軍入城までの間の市内の治安維持に當るために最大限一千名の武裝英兵を以て市内を整理する
の三ケ條をも同意し、日本軍の入城時間その他細目に至つては改めて協議すること、パーシバル總司令官及びトーマスシンガポール總督は……

第一線兵團長 牟田口中將
戰傷を押して陣頭指揮

【寫眞＝牟田口中將】

【大本營發表】（二月十六日午後一時）シンガポール島要塞攻略戰の第一線兵團長たる牟田口陸軍中將は二月十日ブキテマ附近の激戰において戰傷を負ひたるも依然陣頭に起ちて指揮をとりつゝあり

優渥なる勅語を賜ふ
陸海軍の偉功を嘉せらる

【大本營發表】（十六日午前十一時四十分）大元帥陛下には本日陸海軍幕僚長を召させられ、南方々面陸軍最高指揮官ならびに聯合艦隊司令長官に對し左の勅語を賜はりたり

勅語

馬來方面ニ作戰セル陸海軍部隊ハ緊密適切ナル協同ノ下ニ困難ナル海上護衛竝輸送ト果敢ナル上陸作戰トヲ斷行シ炎熱ニ耐ヘ瘴癘ヲ冒シ長驅蹇擊隨所ニ勁敵ヲ破リ神速克ク新嘉坡ヲ攻略シ以テ東亞ニ於ケル英國ノ根據ヲ覆滅セリ
朕深ク之ヲ嘉尚ス

日本の優越
トルコも確認

【アンカラ十五日同盟】シンガポールイギリス軍の降伏の報は十五日午後ラジオによつてアンカラに傳へられ今までイギリス側の持久戰宣傳に耳を藉してゐた人々に大きな衝動を與へたが、一般には來るべきものが來たといふ印象を與へてゐる、アンカラ放送局のラジオはシンガポール占領後の日本軍の西南太平洋および東亞全般における優越的立場を強調するとともにスマトラ、ジャヴァをはじめ蘭印諸島、オーストラリヤ、印度方面への脅威波及および重慶政府の重大衰弱化などを述べてゐる

營は直ちに日本軍において監護することを決定し、午後七時五十分イギリス側代表が先づ歸還、こゝに世界の戰史を飾るシンガポール無條件降伏は全く完了し、我第一線部隊は堂々シンガポールに入城することになつた

南總督から感謝文を打電
全半島民の激情披瀝

シンガポール陷落の歡喜にどよめく十六日、南總督は東條陸軍大臣、嶋田海軍大臣、杉山參謀總長、永野軍令部總長、寺内南方々面陸軍最高指揮官、山下マレー方面最高指揮官に宛て半島二千四百萬官民の感謝、感激を代表し次の如き感謝文を打電した

陸軍大臣、海軍大臣
參謀總長、軍令部總長
寺内南方々面陸軍最高指揮官
山下マレー方面軍最高指揮官　宛

大東亞戰爭開始以來皇軍の向ふ所敵なく今又英國が東洋侵略の據點として難攻不落を誇りしシンガポールも遂に陷落するところとなり之により太平洋印度洋を連ぬる東亞共榮圏に對する帝國の威力彌よ加はり皇威を中外に宣揚せられたるは洵に慶祝に不堪、之れ全く陛下の御稜威の（山下最高指揮官には「作戰ご」）宜敷を得たるものにして本官は茲に半島二千四百萬官民を代表し皇軍將兵の勇武に感謝の誠を致すと共に併せて戰歿英靈に敬虔の誠を捧ぐる次第なり

陸軍大臣宛【愛國班員を代表】

英の東亞侵略據點シンガポール遂に陷つの快報は半島二千四百萬民をして喜びと皇軍將兵に對する感激の坩堝と化してゐるが、南國民總力聯盟總裁はこの喜びを傳へるため全聯盟愛國班員を代表して十六日午前次の如き祝電を陸海軍大臣宛に發した

シンガポールの攻略は世界戰史上不滅の大足跡を印し國威を八紘に輝かしたるものにして、衷心感激に堪へず、茲に二千四百萬聯盟員を代表して皇軍の赫々たる武勳を讃ふると共に將兵各位の御苦勞に對し深甚なる謝意を表し併せて武運益々長久ならんことを祈る、右聯盟愛國班各位に御傳達乞ふ

感謝決議案上程
けふ兩院緊急本會議

【東京電話】衆議院は十四日一切の議事を終了したので自然休會に入つたが、あたかも休日明けの十六日はシンガポールが遂に皇軍の惣擊に陷落するに至つたので豫定通り十六日緊急本會議を開き、國民的赤誠を盛り上げて熱烈なる皇軍感謝の決議を行ふことに決定したが、貴族院は午前十時より衆議院は午後一時よりそれぞれ緊急本……

陸海軍に對する感謝決議案
貴族院、全會一致可決

【東京電話】十六日緊急本會議において全會一致をもつて可決せる貴族院の『陸海軍に對する感謝決議案』は次の如し

帝國陸海軍は、緊密なる協同のもとに百艱を排し萬難に堪へ、勇戰敢鬪、至る所に敵の大軍を擊破し赫々たる戰果を收む、さきには布哇を急襲し、南海を制壓し、ついで香港を攻略し、比島を占據し、もつて敵兵力の大半を失はしむ、しかして朔方の警戒も彌々勝に中國文の攻戰また毎に大捷を奏す、いまや新に馬來を席卷し緬甸に進擊し蘭印の要衝を確保し、つひに東亞制壓の基地獅子島を陷落せしむ、作戰豪壯、戰果機に中り勇武比なし、貴族院はこゝに皇軍將兵の偉勳を頌し併せて戰歿將兵諸士の英靈に對し深く哀悼の誠意を表し戰傷病將兵諸士に對して篤く同情の誠意を致す

德川議長より兩院の決議案について議員貴衆を傳留、東條兼陸相、嶋田海相よりシンガポール陷落の戰史的報告をなしたのち兩院とも各派共同提案の『皇軍に對する感謝決議案』を上程、貴族院は各派を代表した德川圀順公（火曜）衆議院は小泉又次郎氏（翼同）がそれぞれ提案理由の說明をなし全會一致をもつてこれを可決、ついで兩院に對し陸海軍兩相より謝辭があるが、とくに東條首相は兩院本會議開會前陸海兩相の戰況報告に先立つて發言を求めて登壇、シンガポール島陷落の意義と帝國今後の重大なる經綸と抱負を全世界に宣明するとゝもに、全國民に對し皇軍の戰果に呼應し大東亞戰爭完遂に邁進すべき決意を披瀝し全國民の奮起を要請することになつてゐる、從つてこの日の兩院は未曾有の光景を呈するであらう

兩院で祝賀

【東京電話】貴族院では十六日本會議散會後直ちに院内議員食堂に松平、佐々木正副議長をはじめ全議員、小林書記官長以下高等官參集、政府側より東條首相以下各閣僚も出席、シンガポール陷落を祝して乾盃、松平議長の發聲で萬歲を三唱して散會した、一方衆議院でも同日本會議散會後、議員一同院内食堂に參集、政府側より東條首相以下各閣僚、政府委員、衆議院側より大木書記官長以下高等官出席田子議長よりシンガポール要塞陷落祝賀の挨拶後、東條首相の發聲で『大元帥陛下萬歲』内ケ崎副議長の發聲で『陸海軍萬歲』を三唱乾盃して散會した

大東亞建設の經綸抱負
東條首相 全世界に宣明

ビルマ、印度われに協力せば積極的援助惜まず
蘭印、蔣政權斷乎擊滅

【寫眞＝東條首相】

【東京電話】東條首相は十六日の貴衆兩院本會議劈頭において重大發言を求め、英國が東亞侵略の牙城として世界に誇るシンガポール陷落を報告し、その歷史的意義および今後における帝國の大東亞建設の雄渾な經綸と抱負を全世界に宣明するとともに全國民に對し鐵石の團結をもつて戰爭目的完遂に邁進すべき決意を左の如く闡明した

すでに大本營より發表された通り昨十五日皇軍はシンガポールを占領した、戰況については陸海軍當局より報告があるが、私はこの機會において所信の一端を述べることを欣快とするものである
畏くも宣戰の大詔渙發せられるや、開戰劈頭忽ちにして米英艦隊の主力を屠り僅か二旬にして香港を、三旬にしてマニラを、しかして七旬を出でずしてシンガポールを攻略し、こゝに米英兩國の多年にわたる東亞侵略の三大據點は擧げてわが占領するところとなつたのである、一方ボルネオ、セレベス、ニューブリテンなどの要衝も悉くわが掌中に落ち、さらに蘭印艦隊の主力はわが擊滅するところとなり、今や皇軍は蘭印の據點を壓して人類史上いまだかつて見ざる大規模の作戰に從事しつゝある、この赫々たる戰捷は御稜威の下皇軍將兵の勇戰奮鬪のたまものにほかならない、私はこゝに家を忘れ、身を忘れて護國の礎となりたる英靈、遠く異境にあつて傷つき病を得たる傷病將兵、陸に海に空に並々ならぬ勞苦と危險とを克服して奮戰しつゝある勇士たち、しかして父を夫を、子を、兄弟を戰線に送り、彼らをして遺憾なく活躍せしめつゝその留守を守り、あるひはこれを助けあらゆる困難に耐へ忍び銃後奉公の誠を致しつゝある同胞諸君に對し深甚なる感謝の意を表する次第である、しばしば述べたる通り大東亞戰爭の目標とするところは我が大東亞の……

し大東亞の各國家、各民族をして各々その所を得しめ、皇國を核心として道義に基き、共存共榮の新秩序を確立せんとするにあり、米英諸國の東亞に對する態度とは全くその本質を異にする、今やかつて米英の東亞侵略政の根據であつたシンガポールおよびその他の要衝は大東亞諸民族のために、新秩序の建設とその防衛の據點として限りなき前途の希望と榮譽のもとに蘇りつゝある、しかして香港、比島、マレー半島の如きはすでに其新建設に向つて堅實なる巨步を踏出してゐるのである、私はこの劃期的の機會において關係各民族および各國家に對し帝國の眞意を重ねて披瀝いたしたい、皇軍は今やビルマ方面において着々として攻略の步を進め、その要衝は緊次わが有に歸し、帝國のビルマ進攻の眞意は英國の軍事據點を覆滅するとともに米英の援蔣の通路を遮斷せんとするにある、固よりビルマ民衆を敵とするものではなく、從つてビルマ民衆にして、すでにその無力を暴露せる英國の現狀を靜視し、その多年の桎梏より離脫してわれに協力し來るにおいては帝國は欣然としてビルマ民衆の多年にわたる宿望、すなはちビルマ人のビルマ建設に對し積極的協力を與へんとするものである、數千年の歷史と光輝ある文化の傳統とを有する印度もまた今や英國の暴虐なる壓政下より脫出し大東亞共榮圏建設に參加すべき好機の秋である、帝國は印度が印度人の印度として本來の地位を回復すべきことを期待し、その愛國的努力に對しては敵へて援助を惜まず、もしそれ印度がこの歷史と傳統とを顧みず、その使命にいまだ覺醒することなく、依然として英國の甘言と好餌とに迷ひその意志に從ふにおいては私はこゝに永く印度民族の再興の機會を失ふべきを憫へざるを得ない、米英と提攜し敢て抵抗を續くるオランダに對しては帝國は徹底的にこれを擊滅せんとする、しかしながらインドネシヤ民族にしてわが眞意を諒解し大東亞建設に協力し來るにおいてはその希望と傳統とを尊重し同民族を米英の傀儡たるオランダ亡命政府の壓政下より解放してその地域をインドネシヤ人の安住の地たらしめんとするものである、濠洲及びニュージーランドも又侍むべからざる米英の援助を期待せる無益の戰爭はこれを避くべきであ……今やこれら民衆の福祉は一にかゝつてこれら政府の帝國の眞意を理解し公正なる態度に出づるや否やに存する、歐洲において、また香港において、さらにマレー半島において英國が如何に濠洲軍およびニュージーランド軍將兵を利用し如何なる處遇を與へつゝあるかは濠洲及びニュージーランド民衆自ら十分にこれを知得してゐる筈である、顧へつて眼を支那大陸に轉ずるにシンガポールの陷落により米英の豪語せる對日包圍陣の一角は全く崩壞ししかも皇軍緬甸の進擊により所謂るビルマルート遮斷の日は近きにある、かくして重慶政權は當に全く孤立無援の苦境に陷らんとしてをりこれに對し帝國は斷乎として最後の鐵槌を加へんとするものであるしかしながらたび述べた通り帝國の中華民國國民に對する態度はあくまでも兄弟と考へ相倚り相扶けて共に大東亞建設を行はんとするものであるしたがつて一部頑迷なる指導者に誤られて大東亞黎明の光輝あることの時機において中華民衆が依然として塗炭の苦るしみに陷つてゐることは帝國として御に遺憾の情に堪えない、南米およびその他の中立諸國については、私はこれら諸國が必ずや帝國の眞意を諒解し米英に牽制せられて火中の栗を拾ふが如き愚みをなさゞることを確信するさらに私はこの機會において盟邦諸國より帝國に寄せられつゝある協力と厚意とに對し國民とゝもに深甚なる謝意を表する、すなはち盟邦諸國中華民國國民政府、泰國および佛印などが常に帝國と苦るしみを分ち、樂みを倶にせられ、大東亞共榮圏建設に精進せられつゝあることは眞に欣快とするところである、また獨伊をはじめ歐洲盟邦諸國が帝國と切實に協力呼應して赫々たる戰果を擧げ、いよ〳〵世界新秩序建設に努力せられつゝあることは眞に感銘深きものがある、こゝにその勇戰奮鬪に對し衷心より敬意を表すると共にこのうへとも一層戰果を擴充せられんことを祈つて止まない、今やシンガポールは陷落した、しかし之は大東亞戰爭遂行の一階梯を築き上げたに過ぎないのであつて、この際國民が戰捷に驕り氣を弛むるが如きことは斷じてあつてはならない、戰爭は正に今後にある、すなはち帝國はこの一大戰爭を契機として盟邦諸國との提攜を緊密にし、さらに積極的作戰を遂行しもつて米英及びその追隨勢力を徹底的に擊滅せんとするものである、私はこゝにシンガポール陷落の報に接して全國民とともに皇軍の戰捷を衷心より慶祝するとともに上下心を一にし、官民一途國を擧げて新なる認識と決意のもとによく征戰の目的を完遂し、もつて聖慮を安んじ奉らんことを誓ふ次第である

パレンバンに精銳上陸
落下傘部隊と合流して果敢な進擊を續行

【サイゴン十五日同盟】ロイター通信バタヴイヤ電によれば十五日パレンバンに奇襲着陸した落下傘部隊と合流果敢な進擊をつゞけてゐる……日本軍は十四日同地に上陸した

敗敵の第二抗戰企圖は立ち所に擊滅せん
われに周到の用意あり

【東京電話】世界に堅壘を誇り絕對不落を豪語したシンガポール島要塞は壯烈果敢な皇戰力斷の前に潰え去るに至つた、十二月八日マレー作戰開始以來七十日、その快進擊と猛攻は絕對に世界戰史に比類なきものである

二月九日ジョホール水道の奇襲渡過に成功して僅か七日、巨砲の彈幕を張りめぐらしたシンガポール島要塞に肉彈突擊した攻城戰は世界の視聽をこの一點に蒐集しつゝあつたが遂に十五日午後頑敵英軍悉くわれに降伏し、シンガポール島要塞の陷落が同日午後十時十分大本營より發表された、敵營の歷史的瞬間である

英東亞據點
シンガポール島の覆滅は英帝國綜合戰力の核心を壓雖するに止らず、樞軸國家群への包圍態勢を企圖した米英陣營の戰略的……

敗敵第二の防衛據點を出發し得る周到なる用意あり、敵の抗戰企圖は立ちどころに擊滅されん……

長期作戰の
……敗戰の歷史を辿ることは言を俟たない、米英敗れたり、今こそ神武日本皇軍の威力を知るべきである

大なる戰線と兵站を全世界に宣明……連絡線を完全に遮斷し作戰建直しに狂奔する彼等に大なる脅威の第一歩を印せしめたところに多大の意義がある、遠く左翼の據點ハワイの陷闘にはじまつたABCD包圍陣の粉碎は右翼據點シンガポール島の陷落によつて完全に止めを刺されさらに飛躍してわれに逆包圍の態勢を完成せしめ、先制的立場を確保し西南太平洋ならびに印度洋に對し完全な行動の自主權を獲得するに至つたのである、シンガポール港の抵抗力に戰心し、その兵力に信頼して對日包圍陣結成に躍起となつた弱小諸國の不安動搖察ふべし、蘭印すでに脚下にあり、濠洲、印度またわが艦隊の制壓圏内に壓縮されるに至つた、卓越せる指揮統帥と勇武な將兵の力戰奮鬪は南方資源の確保と相俟つて敵陣營に磐石の威壓を加へたものといへやう、無敵海軍と協力してわれに……

日本の勝利は樞軸の勝利
駐日大公使の祝辭

【東京電話】シンガポールはつひに陷落した、敵侵の牙城に血の日章旗がうち樹てられた今日こそ大東亞の新しい歷史が始められるのだ、これは日本國民だけの喜びではなかつた、大東亞共榮圏の諸民族はもちろん、遠く歐洲の彼方にあつて日本と固き盟ひに結ばれた樞軸諸國、滿洲國、國民政府、泰國などの駐日各國大公使は直に同盟通信社を通じ一億國民に次の如き感激の祝辭を述べた

▲インデルリ駐日イタリー大使談　シンガポールには日本軍の赫々たる戰果を記念すべき金字塔が建てられねばならない、これこそ世界戰史の最も輝かしきページを飾り世界をして、大東亞民族の新時代創始を想ひ出さしめるであらう、日本は國を擧げてかつ盟邦獨伊と協同して正しくそして永遠なる平和を目ざす新秩序建設のため、世界最強と自稱した英米兩國に宣戰した、そしてシンガポール陷落こそこの戰の一時期の終焉を意味するものである

▲ドイツ大使館附陸軍武官クレッチメル大佐談　シンガポール陷落に對するわれ〳〵の感激は全く特別なものがある、コタバル上陸以來わづか二ケ月でシンガポールに突入した山下將軍の卓越せる指揮作戰と、優秀なる敵と地形の困難を克服して進擊された日本軍の強さ、なかでもシンガポール敵前上陸が極めて短時間に成功したことは實に驚嘆のほかはない、將來戰史において計畫的用意周到神速なる作戰の模範として擧げられるのはこのマレー作戰に過ぎない

▲滿洲國大使談　シンガポールの陷落は米英の永年にわたる東亞侵略の努力が完全に退却したことを意味するもので洵に慶びにたへない、今や全東亞民族は米英の恐虐なる搾取から解放され、お互ひに手を握つて大同團結すべき時機が到來したのだ、シンガポール陷落の事實は全滿洲國民に大東亞戰爭の最後の勝利は必ず日本の手に歸すといふ確信を強めるものであり、日本國民と同じ喜びに浸るとともに赫々たる戰果に輝く皇軍將兵に感謝と感激の敬意を捧げる次第である

▲徐中華民國大使談　わづか二ケ月餘の短期間に香港、マニラ、シンガポールと相次いで攻略した日本軍の大勝利は洵に慶賀に堪へない、シンガポール要塞がかくも短時日の間に陷落したことは日本軍將兵の勇武を世界に誇ると同時に、これによつて世界の米英依存主義者も眼が醒めるであらう、マレー半島をはじめ南方諸地域の華僑も今後日本に協力、大東亞建設に邁進されんことを切望する次第である

▲泰國デイレック・チャイナーム大使談　盟邦日本軍隊が開戰後僅か二ケ月餘にしてこの戰果を得たことは全く驚異であり日本のためにもまた泰國のためにも慶びに堪へない、これにより英米は軍事、經濟、政治的に東亞から一齊に敗退する時が來たのである、日本の勝利は泰國の勝利である、泰國は日本のために今後もあらゆる協力を惜まぬであらう

▲ハンガリーニコラスド・ベーグ公使談　東亞におけるふべきシンボルともいふべきシンガポールがこんなに早く落ちやうとは思はなかつた、今さらながら日本軍隊の優秀就中攻擊の迅速さにはたゞ〳〵驚嘆するばかりだ、さうしてこれに劣らぬ銃後の鋼母しさ力強い國民性に深く敬意を表したい

▲ルーマニヤ、ジョルジエ・バグレスコ公使談　私はすでに三年前本國の新聞紙上に日本は南太平洋において指導者となるであらうと發表したことがあるが、今こそ盟邦日本の勝利は確實となり世界における樞軸國の勝利は明かとなつた

時の錄音

シンガポールの敵要塞に無條件降伏、戰史は茲に全く革る。
×
イギリス百年の東亞搾取に止めを刺した皇軍の赫々たる戰果を見よ。
×
樞軸失陷、次に來るものは蘭印、濠洲、印度の無條件降伏だ。
×
一億國民の感激の歡び、而もこの歡びたるや第一線將兵への感謝の涙だ。
×
サア國民よ祝へ。然しこの戰果は皇軍將兵の血を以て得たるものなるを忘れるな。
×
天皇陛下萬歲、大日本帝國萬歲。

奔放無双の作戰
世界戰史に不滅の偉勳

【〇〇基地十五日同盟】シンガポール陥落によつて大東亜戦争もこゝに大きな一段落を劃するに至つた、作戦開始以來七十日全作戦を回顧して見るとそこには驚くべき天佑と言語に絶する將兵の勇戦が限りなく連つてゐる、今次作戦の最大特長は作戦陣域が極めて膨大な上に各地の作戦が一斉に開始された點にあり、このため不案内地形敵軍の堅固な陣地施設などは多種多様しかもわが軍は周到なる研究と支那事變五ケ年半の體驗による放膽無雙の作戦をもつて、すべてを征服し、もつて無敵の新戦術、新記録を世界戦史上に殘しつつ世界の何人にも及ばなかつた、僅か二ケ月餘りの短時日をもつて大業を完成したのである

一、一斉渡洋上陸作戦、開戦一週日を出でずしてわが軍は比島、マレー各地に大部隊の一斉上陸を完了したが〇〇隻に上る輸送船が敵艦船、航空部隊のなほ蠢動する大洋を押し渡り各地一斉に敵前上陸を敢行したことは如何なる戦史にもその例を見ない、しかも各敵前上陸において些かの損害はもとよりあつたにしても作戦として上陸不成功に終つたものはなかつたことは皇軍の上陸作戦がいよ／＼獨得のものとなつたことを示すものである、しかしながらこの作戦の陰には西南太平洋各地の特異な氣象下嶮惡極まる海洋島嶼、上陸地形などに對する極めて周密な研究が秘められてゐたのであつてその現はるゝや一見無謀に近い數千キロの渡洋上陸敢行となつた、今後の戦爭においてはこの精鋭の奇襲上陸を奇襲の戦とすることであらう

一、地形　マレー半島におけるジヤングル地帯特有の嶮地形はすでに詳細紹介されてゐるが、マレー西岸においては部隊の進み得る地形は海岸附近を走る僅か一本の縦貫道路以外にはなく、わが軍は敵防禦火器が時には數キロの厚さで陣を張る眞只中を獨特の突つこみ戦法で突破するよりほかはなかつたまた東海岸は全く道路不完全のため一部隊は實に人跡未踏のジヤングルを數十キロ突破して途方もない個所から敵の側背を衝いたなど將來の兵學において「自然の障害」の價値評價を變化せずんば止まないものであらう

一、敵の装備、素質、防備、英本國兵に比較しても装備は決して劣るものでなく防禦施設においてはマレー半島のジツトラ線の例をはじめいづれも全く本格的でかつ極めて困難であつたたゞ敵はいかにせん雑多な人種と民族の集合のため統帥作戦が混亂しわが方は巧みにその弱點を衝いて成功を收めた

一、補給通信衛生　基地より數百キロも數千キロも離れた前線への補給は最初から「糧を敵地に求む」の策に出でしかも完全に成功したもつとも危惧した飲料水もスコールに恵まれ熱帯地といへば罹れ易い砂漠の作戦の如き困難はなかつた、ジヤングル地帯は困難ではあつたが皇軍はよく克服し、また熱帯特有の怪現象として夜半二時から日の出まで短波無電交信は極めて困難となるが、わが通信部隊は永年の研究はよくこれを克服し嶮地或作戦にも拘らず作戦連絡は極めて順調でこゝにもまた世界通信技術界に誇るべき技能を發揮した、もつとも苦心したのは作戦進捗とともに第一線または敵地につぎ／＼と前進基地を求めて進むとであつた、特に熱帯地特有の流行病風土病はわが軍が作戦開始前より最も警戒し衛生陣に萬全の準備を整へたものであつたが蓋を開けて見ると意外に罹病者は少くマラリア、コレラその他流行病の發生は殆ど絶無状態で脚氣その他胃腸病患者も極めて少いので拍子抜けした位であつた、死傷者を加へて作戦前豫想した損害の一割にも足らぬといふ結果はどこから出たか、一つに將兵の旺盛なる士[illegible]精神の緊張によるものといはねばならぬ

一、航空作戦　緒戦の成果について航空部隊が自爆不時着覚悟で行動半徑外の戦闘地區へ飛び出し友軍の占領が終るか終らぬうちに敵飛行場へ着陸するといふ離れ業を演じたこともある、しかもこれら飛行場は極めて狭小、地上部隊と踵を接して進む飛行場設定隊の努力もなみ／＼ならぬものであつたまた各上陸作戦において航空部隊は陸上基地からその陸戦に向つたことも多いがこのやうな例も戦史上未曾有のものである

世紀の獅子島攻略戰
マレー上陸以來の戰鬪經過

【東京電話】御稜威のもと帝國陸軍部隊は帝國海軍の緊密なる協同作戦により果敢なる上陸作戦を遂行し、強靭なる突破力と神妙なる機動力を遺憾なく發揮して随所に頑強なる敵を殲滅し、遂に二月十五日敵が東亜に百廿年の長きにわたつて盤踞を誇つたシンガポール大要塞を降し去つたのである、十二月八日マレー半島海岸の一角に壮烈なる上陸作戦に成功して以來南方特有のあらゆる支障を克服し七十一日にして實に一千二百キロを突破、その緒戦においてジツトラ、コタバルの堅陣を殲滅して敵の大部隊をいはゆる殲滅あるひは潰走せしめ赫々たる戦果を收め終始精神的優位を保ちつゝ果敢なる進撃を續行しクワンタン、スリム、エンダウなど各戦略上の要衝を衝くに當つては海陸よりする機動の妙を發揮し、かつ將兵協同戦闘の緒を離し一擧にこれを殲滅した、この間わが航空部隊はわが傳統の攻撃精神と優秀なる戦闘技能をもつて敵空軍を壓倒殲滅して制空權を確保し、かつ地上戦闘に緊密に協同その果敢なる攻撃を優位ならしめた、かくて一月三十一日ジヨホールバールを占領してこゝに半島全線を席巻し去りシンガポール島を指呼の間に望むに至つた、爾來十日間を持して放たず周到綿密なる攻撃準備のうち二月八日夜以來ジヨホール水道を強行渡過し果敢なる白兵戦闘ののち海岸線一帯の敵陣地を突破、十日夕刻パンチヤン砲台を奪取、十一日拂曉早くも同島最高のブキテマの敵陣を強襲これを占領、午前八時シンガポール市の一角に突入した、一方陸橋附近に上陸した諸部隊は陸橋を確保するとゝもに一擧にマンダイ山を略取し後續部隊の水道渡過を容易ならしめたが十五日午後一時半わが晝夜の別なき猛攻にさすがの敵軍も遂にわが軍に降伏するに至り、世紀の偉業シンガポール攻略は御稜威のもと必勝の信念を堅持し、勇戦奮闘せるわが將兵により完成せられたのである、十二月八日以來帝國陸軍部隊のジヨホールバール攻略までの主なる綜合戦果左の通り

一、遺棄死體　五、〇〇〇
二、俘虜　七、八〇〇
三、撃墜破飛行機　四五四機
四、沈撃破船舶　五十五隻
五、鹵獲品、火砲三三〇門、重輕機關銃五五〇挺、銃器四、〇〇〇挺、戦車（装甲車を含む）二五〇輛、自動車三、六〇〇輛、鐵道車輛八三二輛

作戰經過

十二月八日　帝國陸軍部隊は帝國海軍部隊との密接なる協同のもとにコタバル、シンゴラ、パタニーなどの上陸作戦に成功す陸軍航空部隊は上陸作戦に緊密に協力し主として北部マレーにおいて敵機撃破四十八機の戦果を擧ぐ

九日　コタバル上陸部隊はおよそ五千の敵を強攻これを潰走せしめコタバル市を占領す

十日　シンゴラ上陸部隊泰マレー國境を通過南進す、陸軍航空部隊はペナン、スンゲイ、パタニーなどの飛行場を攻撃し敵十一機を撃墜、十九機撃破す

十二日　シンゴラ上陸部隊はジツトラ陣地を突破し、印度機械化一ケ師を潰滅せしめた、鹵獲品の主なるもの左のごとし、戦車廿輛、火砲十六門、自動貨車六十數輛

十三日　シンゴラ上陸部隊アロールスターを占領す

十五日　陸軍航空部隊は本日までに撃墜廿四機、撃破百十八機、鹵獲二機計百四十四機の戦果を收む

十八日　東海岸部隊は（コタバル上陸部隊）トレンガヌを占領す

十九日　右部隊の一部はクアラクライを占領す、西部マレー方面部隊）はペナン島を占領す

廿二日　西部マレー方面部隊は退却せる敵を撃破しタルアン河を渡河し鐵道道路にて殺到より南進せる新鋭部隊はシンゴラ附近において敵およそ一千を撃退す

廿三日　西部マレー方面ペラ州の首都タイピンを占領す

廿六日　右部隊および鐵道輸送部隊はペラ河各所において渡河に成功し一部をもつてイポー市を掃蕩す

卅日　陸軍航空部隊は夜半シンガポールに對し第一次奇襲敢行

卅一日　東海岸部隊はベロツク附近の敵を撃破し、パハン州北部の要衝クアンタンを攻略す（廿三日トレンガヌ出發以來九日にして二百キロを突破す、西部マレー方面部隊はじめて海上機動部隊をルムトより機動せしむ

一月一日　西部マレー方面部隊はカンパル（ペラ州）の敵陣地に對し攻撃を開始す、同二日、右部隊はカンパルを奪取し引つゞき南進す

三日　前夜ペラ河を渡河せる部隊をもつてセランゴール州に突入し西海岸道を急行せしむ東海岸部隊は頑強な敵の抵抗を排除しクアンタン飛行場を占領す同五日、中央マレー方面部隊（シンゴラ上陸部隊）はトロラクの敵陣地を攻撃

七日　右部隊はトロラク、スリム間において敵二個旅を捕捉殲滅し遺棄死體三百、俘虜約一千五百の戦果をあげ陸軍航空部隊は地上作戦に協力して敵陣地を攻撃し戦車、自動車群を爆碎す

九日　西海岸部隊もセランゴールを占領しその一部はクランに向ひ、海上を機動す、陸軍航空部隊は第十次、第十一次シンガポール夜間奇襲を敢行しセレター飛行場を爆碎するとともに地上部隊に協力し退却中の敵機械化部隊を攻撃す

十日　中央方面部隊は聯邦首府クアラランプールに突入これを占領す、陸軍部隊はマラッカ海峡に艦船を攻撃し潜水艦二隻貨物船一隻を大破せしめるとともに中央方面部隊の戦闘に協力し敵の退路を遮断す

十二日　陸軍航空部隊はシンガポール航空撃滅戦を開始しバツフアロー、ブレーンハイムなど十一機を撃墜す

十三日　西海岸部隊セペンに達しその海上機動部隊ポートデイツクス（マラッカ西北方六十キロ）附近に上陸し主力に策應す

十五日　西海岸部隊主力マラッカを攻略す、陸軍航空部隊シンガポールにおいて十五機を撃墜

十六日　中央方面部隊ゲマス附近の敵を撃破す、西海岸部隊の一部は中央方面部隊正面の敵の退路を斷つ目的をもつてヨンペンに急進す、海上機動部隊はバトパハ河口バンダルペンガラムに上陸

十九日　陸軍航空部隊はバトパハ上空において蘭印のマーチン三機バツフアロー五機を撃墜

廿日　東海岸部隊エンダウを占領しメルシンに向ひ進撃を續行す、中央方面部隊セガマを占領す、西海岸部隊、ムアー河を強行渡河しベクリ及びパリトスロンにおいて八千二百の敵と交戦、これを捕捉殲滅し、遺棄死體一千八百、捕虜一千百の戦果を擧ぐ

廿六日　東海岸部隊、メルシンに進入す、中央方面部隊凡そ四千の敵を撃破しレンガム、シンパンレンガムの線に達す西海岸部隊、バトパハを占領しさらにバトパハ、レンギツト間に敗敵を包圍し、これに殲滅的打撃を與ふ、陸軍航空部隊はエンダウ上空においてわが輸送船團を襲撃せんとする敵大部隊を邀撃しロッキード、ハドソン、フオーカー、ハリケーンなど廿機を撃墜

廿九日　東海岸部隊、ジエマランに達す中央方面部隊はセデナツクおよびアエル、ベンベンに達し當面の敵を攻撃す、西海岸部隊はポンチヤンケチルに達す

卅日　中央方面部隊はクライ河北側に達しプライ山（ジヨホール貯水池南側）の敵陣地に對し攻撃を準備す

二月七日　陸上部隊の一部をもつてウビン島奇襲上陸を敢行これを占領

九日　九日零時二十分帝國陸軍部隊はジヨホール水道渡過に成功す、同日テンガー飛行場を占領す、別の大部隊をもつて陸橋附近に上陸せしめ該陸橋を確保す

十日　激戦ののちパンチヤン高地を奪取す

十一日　早朝ブキテマ山に據る敵を撃破しこれを占領す、八時先鋒部隊をもつてシンガポール市街の一角に突入せしむ

十五日　シンガポール陥落　午後七時五十分イギリス軍降伏

文化

シンガポールを孕む
東印度諸島の謎
弧状山脈こその成因（1）

永田春水氏筆

弧状山脈の大群

雄大なる皇軍によつて着々攻略されつゝある東インド諸島は、大地の構成が極めて複雑であつて、その成因の研究には、古來多くの學者が手を焼いたものである、地球上の大山脈は、大陸の内部では直線であつたり、不規則に曲つたりしてゐるが、大陸の縁にあるのは大抵は大陸に沿つて弧状になつてゐるもので、日本列島も海底から隆起したいくつかの弧状山脈がつながつて、花綵りをかけたやうになつてゐるが、東インド諸島大小無數の島々はその列びかたや島の山脈を検べると多數の蛇行した弧状山脈でできてゐることが分る、たゞそれらの弧は甚だしく彎曲したり所々が破壊したり、斷裂したり、陥沒したりしてゐるために、一見複雑な地形になつてゐるのである

三井鑛山會社の渡田貫一博士によると、これらの弧は南北二群に分けることができる、一群は、ヒリツピンからボルネオとセレベスの北半にかけてのもので、これをスールー群弧といひ、他はインド支那、マレー半島、スンダ列島から、ボルネオ、セレベスの南半にかけてのもので、これをスンダ群弧といふ、スールー群弧は大陸六本の主弧より成り、大陸側の四本は、ルソン島からボルネオへ弧を描いたやうになつてゐて、そのうちの二本がパラワン島、スールー諸島となつて海面に現はれてゐるのである、外側の二本はルソン島からミンダナオ島を縦斷してセレベスに達してある

スンダ群弧が大陸六本であつて、そのうちの二本は、インド支那から海に入り半圓を描いて、ボルネオの山脈となり、次の二本はそれぞれマレー半島とスマトラ島から弧状に曲つて、これもボルネオの山脈につゞき、殘りの二本はスンダ列島となり、その東端で踵を描いて、バンダ海を取りまきセレベスの二つの半島を起してゐる、渡田博士は簡單なる實驗によつて弧状山脈の成因についても、見事にその成因を説明したのである

世紀の凱歌

百瀬千尋

待ち待ちし聖戰の日シンガポール陥落のニユース鳴止し聞く
聞ける瞬間にも恐しくて神に祈ふといふや無條件降伏ユニオンジヤックの旗の根止めし二月十五日世紀の潮波
宇宙を轟ける
皇軍の武勲不滅の塔を押し建てき旭旗燦たりブキテマの高地
皇軍に眼濡しつ血闘の苦心の陣にあがる萬歳萬歳
ブキテマの盤岩の空に永遠の日章旗翻し日章旗高し
民草や一億の魂が火と燃りて掲げられたる日章旗はや
不沈を假しセレター軍港沈默しジヨホールの水東亜に歸る
シンガポール讃えしいまは柄として最後の勝利皇國に在り
大東亜の建設れて御稜威のもと枯葉捲き皇軍は進む

崔承喜の東洋バレー
研究生を募集、長期公演

今、府民館で公演中の崔承喜は今日まで長年の間彼女一人を中心として小人數の舞踊團をもつて舞踊としての世界的地位を確立して來たがソロ公演とは別に來シーズンから大規模な崔承喜東洋バレーを發表する豫定で、日本舞踊、内地の各郷土舞踊、朝鮮舞踊、支那、泰國等の舞踊を基礎とし、眞の意味における藝術バレーとして帝都において數ケ月にわたる長期公演をする筈である

モンテカルロバレーリユースやジヨスバレーやシンカー印度バレー等と共に崔承喜の特色となるであらうが、踊り手も六十名の大人數とし、音樂作奏、裝置、衣裳等斯界の權威を網羅しそのためには委員會が結成され山本實彦、大倉喜七郎、[illegible]谷竹次郎、[illegible]武二、川端康成、新居格、杉山平助、嶋中雄作氏等三十名によつて運行されるといふ

この崔承喜東洋バレーのため、バレー員の募集をやつて居り委員會では、崔承喜の今回の朝鮮公演を機會に、朝鮮からも數人有望な研究員を得たいといつてゐる

日本舞踊など十四曲
けふから公演

朝鮮軍事普及協會主催で十六日午後七時から五日間、京城府民館に於ける崔承喜新作舞踊公演は既報の通り第一部六曲、第二部八曲合計十四曲といふ大馬力である、能樂や舞樂の日本古典の手法を取入れた「武魂」「神前の舞」「七夕の夜」「追心」郷土舞踊を新様式化した「荒踊り形式」「花笠踊」琉球舞踊を扱つた「四竹踊」廣い意味での東洋的舞踊「菩薩の圖」「東洋的リズム」「印度風の踊」朝鮮的手法と題材による三つの傳統的リズム「草笠童」「劍舞」「花郎の踊」で、崔承喜はその中の十一曲を踊り抜く

なほ入場料は指定三圓五十錢、二圓五十錢いづれも指定席で三越、三中井、丁子屋、和信で前賣してゐるが、外に一圓五十錢席もある

◇日活映畫朝鮮配給所主任更迭　一身上の都合で退社した田村穀氏の後任に[illegible]氏が赴任した

不連續線
無智

「少くともシンガポールの場合、紀元節に陥落はしなかつたが、その日に市街に突入したといふだけでも、皇軍の士氣の物凄さが察せられるぢやないか」

と私がいつたら、

「日露戦争の時には、奉天が陸軍記念日に陥ちたし、バルチツク艦隊は海軍記念日に全滅したぢやありませんか」

と、平氣で答へた男がある。

この男、奉天陥落の日を陸軍記念日と定め、バルチツク艦隊を殲滅した日を海軍記念日としたのを知らず、初めからさういふ記念日があつたと思つてゐるらしい。

然し、世の中には、自分の無智を平氣で曝す人間が多い。

京日歌壇
ゆうき選

おのが身をおのが心の思ふままあつかひかねて悩む吾かも　京城　淵川忠好
無言のままじつと見つむる君が眼の雨きを見れば疑ひも消ゆ　全南康津　申鎬
うらうらと冬の日はれて久々のこの風物は見れどあかぬかも
黒土に麥の芽萌えて冬ながら富國の國はうまし國原　平壌　楊京一郎
史にいまだ比あらざるみ戦を今や我等の血もて遂げなむ
必勝の強き決意を眉に見せわがつはものは今ぞ征くなり　京城　宮本季雄
ポプラ並木寒ざむうねる雪原に朝鮮部隊行軍あぐる見ゆ

三國志【730】
（赤壁の巻）
吉川英治（作）　矢野橋村（畫）

一擧三城（六）

壕に落ちいつて死ぬ者、矢に中つて斃れる者など、城の四門で同様な混戦に陥された呉軍の損害は實におびただしい數にのぼつた。

「退鉦ツ。退鉦を打て」

と、程普はあわてゝ、總退却を命じてゐた。

そして、南郡の城から、引き退つて遠く後退すると、早速、

「何よりは、都督のお生命こそ」

と、軍醫を呼んで、中軍の帳の中に臥たまゝである周瑜の矢創を手當させた。

「あゝ、これは御苦痛でせう。鏃は左の臂の骨を割つて中に喰ひこんでゐます」

醫者はむづかしさうな顔をしかめて、傷部をながめてゐたが、傍らの弟子に向つて、

「鑿と木槌をよこせ」

と、云つた。

程普が驚いて、

「こらこら、何をするのだ」

と、怪しんで訊くと、醫者は、患者の創口を指さして、

「ごらんなさい。素人が下手な矢の抜方をしたものだから、矢の根元から折れてしまつて鏃が骨の中に殘つてゐるではありませんか。こんなのが一番われ／＼外科の苦手で、荒療治をいたすよりほか方法はありません」

と云つた。

「うゝむ、さうか」

と、ぜひなく唾をのんで見てゐると、醫者は鑿と槌をもつて、かん／＼と骨を削りはじめた。

「痛い／＼。堪らん。やめてくれ」

周瑜は、泣かんばかり、悲鳴を發した。醫者は、弟子の男と、程普に向つて、

「かう、暴れられては手術ができません。手脚を押へてゐてくれ」

と、その間も、こん／＼木槌を振つてゐた。

荒療治の結果はよかつた。苦熱は數日のうちに癒え、周瑜はたちまち病床から出たがつた。

「まだ／＼さう輕々しく起つてはいけません。何しろ鏃には毒が塗つてありますからな。何かに怒つて、氣を激すと、かならず骨傷と肉のあひだから再び病熱が發しますよ」

醫者の注意を守つて、程普はかたく周瑜を止めて中軍から出さなかつた。また諸軍に下知して、

「いかに敵が挑んで來ても、固く陣門を閉ざして、相手に出るな」

と、嚴命した。

城兵は以來ふたゝび城中に戻つて、いよ／＼勢ひを示し中でも曹仁の部下牛金は、たび／＼とゝへ襲せて來ては、

「どうした呉の鼠輩。この陣中に人はないのか。中軍は空家か。いかに敗北したからとて、いつ迄、ペソを掻いてゐるのだ。潔く降伏するなり、然らずんば、陣を撤いて退散しろ」

と、さんざんに惡口を吐きちらした。

けれど、呉陣は、まるでお通夜のやうにひッそりしてゐた。牛金はまた日をあらためて、やつて來ては、前にもまさる惡口雑言を浴びせたが、

「靜かに。靜かに……」

と、程普はたゞ周瑜の病氣の耳に入ることばかり怖れてゐた。

牛金の來訪は依然やまない。來ては辱めること七回に及んだ。程普はひとまづ兵を收めて、呉の國元へ歸り、周瑜の創が完全に癒つてから出直さうといふ意見を出したが、諸將の衆評はまだそれに一致を見なかつた。

かゝる間に城兵は、いよ／＼足もとを見すかして、曹仁自身が大軍をひきゐて襲せて來るやうになつた。當然いくら秘しても周瑜の耳に聞えてくる。周瑜もさすがに武人、がばと病床に身を起き直して、

「あの鬨の聲は何だ」

と、訊ねた。

程普が、答へて、

「味方の調練です」

といふと、なほ耳をすましてゐた周瑜は、憤然、起ち上つて、

「嘘を申せ。劍をよこせ」

と、罵つた。そして、

「大丈夫たる者が、國を出て來たからには、屍を馬の革につゝんで本國に歸ることこそ本望なのだ。これしきの負傷に無用な氣づかひはしてくれるな」

と、云ひ放ち、遂に、帳外へ躍り出してしまつた。

新刊紹介

▲創造（二月號）特輯「藝術戦線上の南方圏」六篇（五十錢、東京・神田區・淡路町二丁目、創造社）

▲文藝（二月號）國民詩の特輯號で、時局下詩壇の方向に顯然たる示唆を與へてゐる（七十錢、東京・芝・新橋七丁目、改造社）